

THE シガパークビジョン(たたき台)

滋賀県交通まちづくり部
THE シガパーク推進課

THE シガパークビジョン（たたき台）

はじめに

第Ⅰ編 THE シガパークビジョン

1章 THE シガパークビジョンの概要

1.1.THE シガパークとは.....	1
1.2.これまでの THE シガパークの取組	2
1.3.THE シガパークビジョンの構成	4
1.4.THE シガパークビジョンの位置付け.....	5

2章 公園への期待と課題

2.1.公園の役割・とりまく課題.....	7
（1）公園のもつ多様な役割	7
（2）現在の公園をとりまく課題.....	9
2.2.県が管理する公園の現状と課題	11
（1）県が管理する公園について.....	11
（2）公園の更なる魅力向上に向けた課題	15
2.3.利用者等の公園に対する思い・期待.....	17
（1）利用者等の公園に対する思い	18
（2）利用者等の公園に対する期待	21

3章 THE シガパークの目指す姿

26

4章 基本理念と取組方針

4.1.基本理念	28
4.2.取組方針	29

5章 THE シガパークの実現に向けて

（1）推進体制.....	30
（2）市町・民間・地域コミュニティ等との連携.....	30
（3）THE シガパークビジョン等の見直し	31

第II編 第1期行動計画 2030

1章 行動計画の概要	33
------------------	----

2章 2030年の目標	34
-------------------	----

3章 実施内容とロードマップ

3.1. レベルアップ	35
(1) 魅力事業	35
(2) ベース事業	35
3.2. タイアップ	36
(1) ボランティア・地域コミュニティ活動	36
(2) 公民連携・寄付	36
(3) 市町の公園・民間との連携	37
3.3. チームアップ	37
(1) 一体的広報・イベント連携	37
(2) 県の施策との連携	37
(3) 市町との連携	37
3.4. ロードマップ	38

□ 巻末資料

これまでの THE シガパークの取組	巻- 1
公園に関するアンケート調査結果	巻-14
THE シガパークビジョン検討委員会	巻-25

はじめに

背景

滋賀県では、環境保全や遊び場、防災等を目的とした都市公園、自然景勝地の保護や利用増進を目的とした自然公園の他、条例に基づく希望が丘文化公園（昭和47年（1972年）開園）等の公園を、時代のニーズにあわせて設置し管理運営してきましたが、都市公園や自然公園、条例に基づく公園など様々な公園が存在しており、十分に連携が図られているとは言えない状況となっていました。

しかしコロナ禍※¹（平成31年（2019年）～）を経て、令和5年（2023年）から、公園の「心のオアシス」としての価値を再認識し、暮らしと心を豊かにする場を目指して、滋賀の公園全体の魅力向上を図る取組を開始しています。

これらの取組は、琵琶湖を中心とした滋賀県全体が水と緑と人でつながる一つの大きな公園となった姿を「THE シガパーク」と定義し、人々の交流や自然との触れ合いなどを通じて、すべての人の心と暮らしを健やかにするとともに、共創による魅力の向上を目指しています。

目的

これらの背景を踏まえ、「THE シガパークビジョン」は、これまで庁内で積み重ねてきた検討を基に、県民や公園の利用者、関係者からいただいたご意見を反映し、目指すべき将来像や基本理念、取組方針を明確に定めることを目的とします。

本ビジョンを通じて、滋賀の公園が持つ可能性や将来の姿を広く共有することで、県民や関係者の皆様がそれぞれの立場で関わり、共に魅力を高めていくための共通のみちしるべとなることを目指します。

また、多様な主体が緩やかにつながり、連携・協働していくための行動や意思決定の指針とします。

※¹「コロナ禍（コロナか）」とは、2019年末から世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によって引き起こされた、社会・経済的危機や災難を指す言葉です。

第Ⅰ編 THE シガパークビジョン

1 章 THE シガパークビジョンの概要

1.1.THE シガパークとは

滋賀県の生活・文化・歴史は古くから、琵琶湖はもちろんそこに流れ込む多くの河川やその水源となる山や森林といった自然と切り離せない関係にあり、公園もまた緑や水と強く結びついています。

滋賀県には、そんな豊かな自然を生かした魅力ある公園が琵琶湖沿岸から内陸まで数多く存在しており、その県土に占める自然公園の割合は全国一位の37.3%です（令和7年（2025年）3月31日現在）。

これら数多くの魅力的な公園や豊かな自然環境を個々の点として捉えるのではなく、琵琶湖を中心として、滋賀県全体が水と緑、そして人々の活動でつながり一つの大きな公園となった姿、それを「THE シガパーク」と定義します。

「滋賀県はでっかい公園だ！」

というコンセプトのもと、琵琶湖の碧（あお）さに溶け込むようなくつろぎの空間、四季折々の風景が紡ぐ豊かな自然、子どもたちが時間を忘れて熱中できる遊びの場など、それぞれの公園が持つ多様な個性を有機的につなぎ、県全体で一体的な魅力向上を図ることを目指しています。

この「THE シガパーク」が目指すのは、すべての人の憩い・交流・体験の場であり、子どもたちが美しい自然の中で健やかに遊び、学ぶことができる空間です。さらには、人間だけでなく、そこに生息するすべての生きもの達の環境でもあります。

本ビジョンのもと、県民、利用者、関係者といった多様な主体がこの目指す姿を共有し、それぞれの公園が特徴を発揮しながら相互に連携することで、滋賀の公園全体のポテンシャルを最大限に高めていくこととしています。

1.2.これまでの THE シガパークの取組

滋賀県では、令和 5 年（2023 年）6 月に、公園を所管する部局を横断した庁内会議として「“しがの公園”魅力向上推進会議」を設置しました。この会議の中で、県全体を一つの大きな公園と捉える「THE シガパーク」という名称が誕生したことを機に、「THE シガパーク推進会議」へと改称のうえ、全庁一丸となった取組を展開してきました。

当初はこうした県庁内を中心とした取組としてスタートしましたが、滋賀ならではの豊かな公園環境を次世代へと引き継ぎ、その魅力をさらに高めていくためには、行政の枠組みを越え、県民や民間事業者、市町とともに進める「共創の取組」へとつなげていく必要があります。そこで、社会全体で未来の公園像を共有し、一丸となって歩みを進めるための指針として、本ビジョンを策定することといたしました。

具体的な展開にあたっては、「レベルアップ」「タイアップ」「チームアップ」という 3 つのアップ（スリーアップ）を合言葉に、公園が持つ潜在的な魅力を「**美しさ**」「**優しさ**」「**楽しさ**」という 3 つの視点から再発見・向上させ、効果的な情報発信や事業実施に取り組んできました。

さらに、このビジョンに基づく共創の取組を全県的に力強く牽引・推進していくための体制として、令和 8 年（2026 年）度には「THE シガパーク推進課」を発足させています。

これまでの THE シガパークの取組

■ レベルアップの取組

● THE シガパークベース事業（共通）

基本的な施設の魅力向上として、快適なトイレ・わかりやすい看板・ゆとりある駐車場などへの更新

● THE シガパーク魅力事業（個別）

各公園の特徴的な魅力をのばすための施設整備として、スケートボードパークの整備や公園の特徴を活かした活性化事業、遊具のリニューアル



スケートボードパーク
左：春日山公園
右：奥びわスポーツの森

■タイアップの取組

- THE シガパーク企業フォーラムの開催
民間事業者等との協働を拡げていくため、「公園を使ってできること」
「公園のためにできること」を共有
- 「THE シガパーク」公民連携のご案内の作成
企業とシガパークの協働の形を提案するパンフレットを作成
- 「健康しが」共創会議への参加
- 企業版ふるさと納税マッチング会への参加
- THE シガパーク DAY の開催

■チームアップの取組

- THE シガパークロゴマーク・キャラクターの決定



THE シガパークロゴマーク・キャラクター

- THE シガパークパンフレットの制作
- THE シガパーク Instagram の開設
- THE シガパーク MOVIE の制作
県民参加型の動画募集企画で応募のあった動画を活用して作成
- THE シガパークフェスタの開催（キックオフイベント）
- 大阪・関西万博 ブース出展
- シガパークめぐりデジタルスタンプラリーの開催
- THE シガパーク LAKESIDE の制作（湖岸緑地 HP）
- フォト&ムービーコンテストの開催
- 国スポ、障スポでの広報
- 公園紹介動画の制作



公園紹介動画

1.3.THE シガパークビジョンの構成

「THE シガパークビジョン」は、長期的な展望を示す「第Ⅰ編 THE シガパークビジョン」と、5 か年毎の具体的な施策を定める「第Ⅱ編 行動計画」の2編で構成されています。

第Ⅰ編では、本県が時代ごとに多様な公園を整備してきた歴史的経緯を踏まえ、次世代へ確実に引き継ぐための基本理念や取組方針を定めています。ここで見据える20～30年後とは、社会環境や人口構造が大きく変化する転換期であり、次世代の暮らしの基盤となる公園のあり方を今から長期的な視点で描き、育んでいくために設定したものです。

一方、第Ⅱ編の「行動計画」は、社会情勢の急速な変化や多様化するニーズに柔軟に対応するため、5年サイクルで順応的な見直しを行います。

「THE シガパーク」の実現に向けては、県民、利用者、関係者と目指す方向を共有し、共に魅力を高めていく「みんなでつくる THE シガパーク」への深化を目指し、柔軟かつ着実に取組を推進していきます。

THE シガパークビジョン

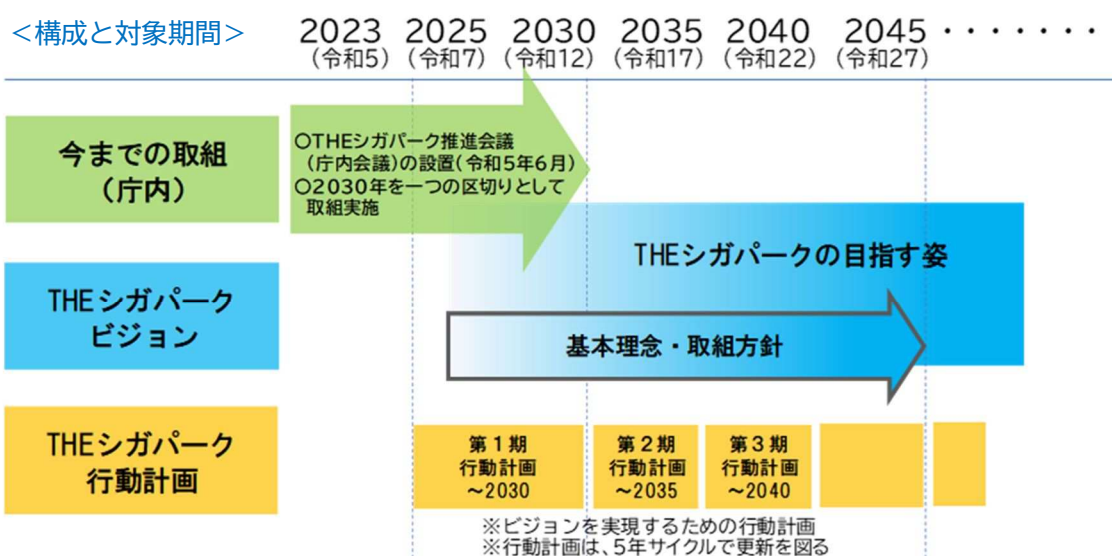
・第Ⅰ編 THE シガパークビジョン

時代を超えた公園の将来の目指す姿や基本理念

20～30年後に次の世代に引き継ぐための取組方針

・第Ⅱ編 行動計画

THE シガパークビジョンを実現するための行動計画



※THEシガパークビジョンは必要に応じて10年に1回程度見直し、行動計画は5年に1回策定していく

図 THE シガパークビジョンの構成と対象期間

1.4.THE シガパークビジョンの位置付け

■上位計画

THE シガパークビジョンは、「滋賀県基本構想 変わる滋賀 続く幸せ」（平成31年（2019年）～令和12年（2030年））、「人口減少を見据えた未来へと幸せが続く滋賀総合戦略」を主な上位計画とし、これに基づき策定しています。また、「滋賀県基本構想実施計画（第2期）～みんなで描き、ともに創る「健康しが」～」(令和5年（2023年）～令和8年（2026年）)、「マザーレイクゴールズ（MLGs）アジェンダ」（令和3年（2021年）～令和12年（2030年））と整合を図りながら策定しています。

■関連計画

THE シガパークビジョンに関連する計画には、「滋賀県の気候変動影響等とりまとめ」や、「みどりとみずべの将来ビジョン」、「滋賀県営都市公園マネジメント基本方針」、「緑の広域計画（今後策定予定）」などがあります。

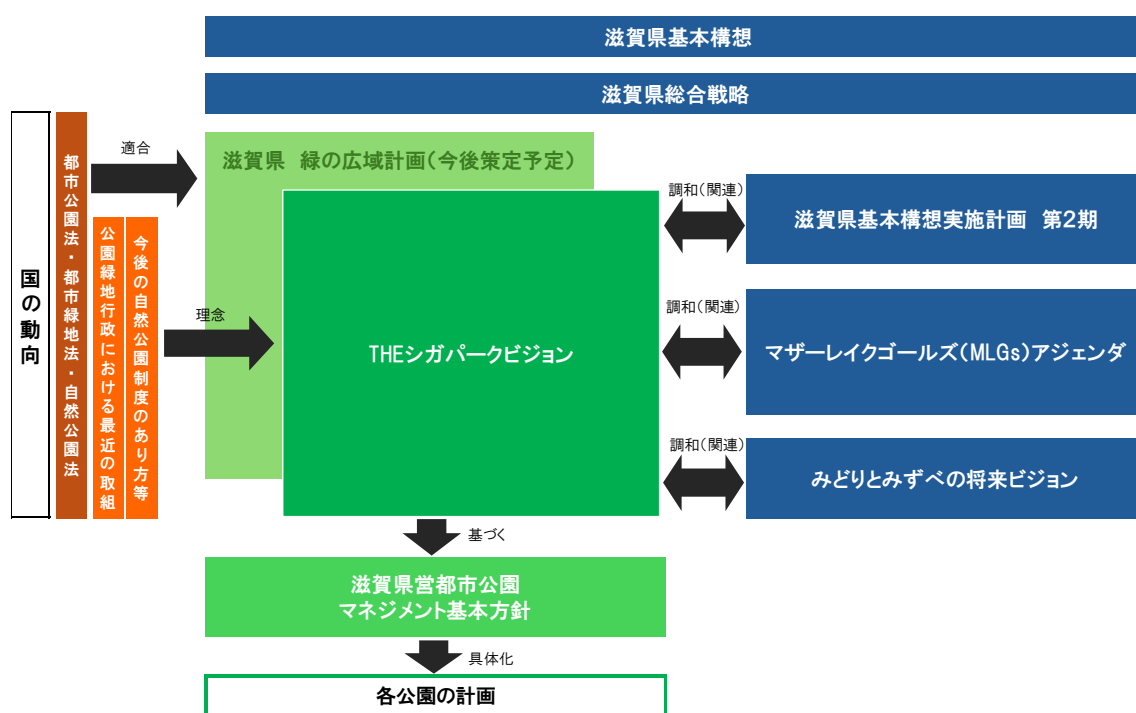


図 THE シガパークビジョンの位置付け

■対象分野

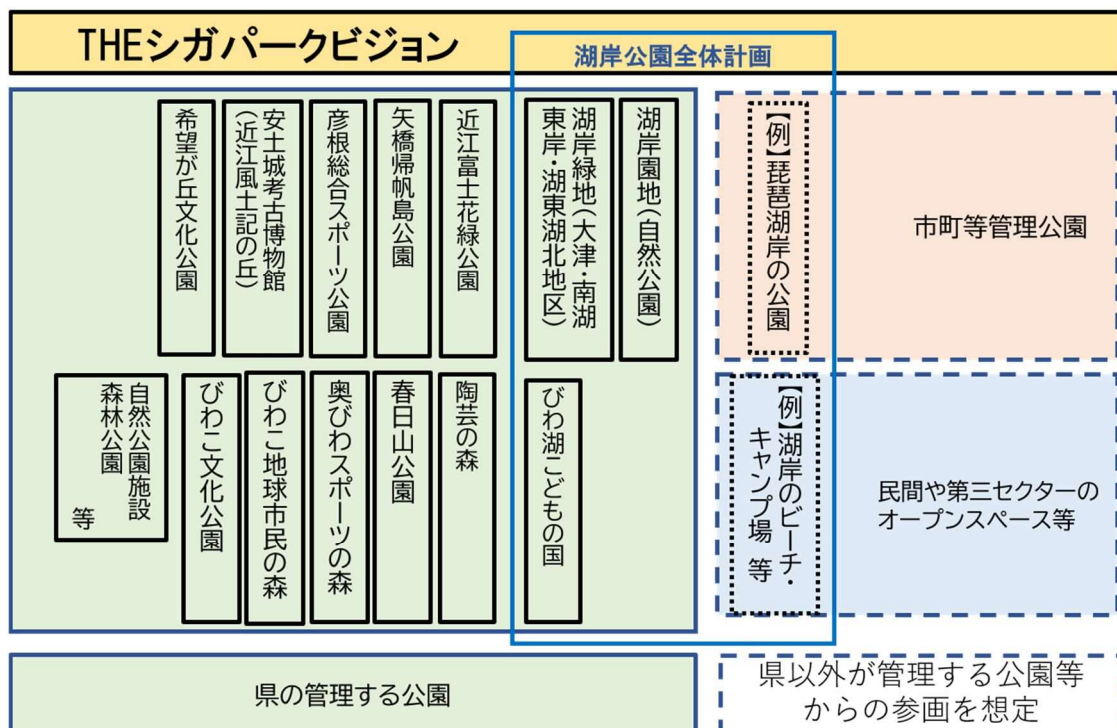
THE シガパークビジョンの対象となる分野は、公園の利便性向上や利用促進に関する取組（ハード&ソフト事業）としています。

また、県の各施策を推進する上で、公園に関係する取組（健康、こども、自然環境、生物多様性、動物愛護、地域交通、観光など）については、各専門部局の方針等に沿っていきます。

■取組対象範囲

THE シガパークビジョンでは、県が管理する主な公園を中心に、その他の県管理の多様な公園を順次追加していきます。さらに、県全体を一つの大きな公園としてつなげていくためには、県の公園だけでなく、地域に身近な市町の公園や、民間・地域が管理する多様な緑の空間が、それぞれの垣根を越えて連携していくことが望まれます。

このため、THE シガパークを構成する個別の公園である●●●※²の拡充を進めるとともに、この趣旨に賛同し、ともに参画・連携が可能なひとや市町の公園、地域団体・企業などを広く●●●※³として迎え、ともに THE シガパークの未来を織りなしていきます。



※THE シガパークビジョンを実現するための重点的な取組として、湖岸公園全体計画を THE シガパークビジョンと並行して策定。

図 THE シガパークビジョンの取組対象範囲

※2●●●：THE シガパークを構成する個別の公園に対する呼び名

※3●●●：公園で活動するひと、連携していきたい市町の公園・地域団体・企業等に対する呼び名

2章 公園への期待と課題

2.1.公園の役割・とりまく課題

(1) 公園のもつ多様な役割

改めて公園に関する取組を進めるのには、以下のような理由があります。

①新型コロナを経験して…「心のオアシス」としての公園の価値の見直し



コロナ禍における生活様式の変化に伴い、身近な屋外空間での運動・リフレッシュ需要が急増したことで、三密を回避できる都市のオープンスペースとして、公園の価値が客観的に再評価されるきっかけとなった。

②地球沸騰化時代を迎えて… 街中の緑地として公園が果たすべき役割



地球温暖化に伴う気候変動や生物多様性の保全、ヒートアイランド現象等へのアプローチが国際的に求められる中、都市部における貴重な緑地として、公園の果たすべき役割は大きい。

③急速に少子高齢化が進む日本で… 子育て・教育、高齢者福祉に 公園が与える効果



急速に少子高齢化が進む社会において、公園は子どもにとっては目一杯に体を動かせる場所であり、高齢者にとっても交流・運動に欠かせない場所となっている。加えて、子どもや子育て世代、高齢者が一緒に使う公園は、年齢や背景の違う人たちが一緒に過ごす多世代交流の場所にもなっている。

④多発する大型災害に備えて… 災害発生時に公園が持つ防災機能に対する期待



災害発生時には、避難場所となることが多い公園。防災機能を高めることで、災害時に大きな役割を果たすことが期待されている。

⑤滋賀県基本構想において… からだとこころの健康づくり、 子どもを真ん中において社会づくり



滋賀県基本構想実施計画(第2期)の政策に基づき、公園のポテンシャルを活かし、『こころとからだの健康づくり』や『子どもの健やかな学びと育ち』の一端を担っていくため、魅力ある公園づくりに取り組んでいる。

公園は子どもの遊び場にとどまらず、多様な役割を担っており、現代に生きる我々の暮らしにおいて極めて重要です。

公園が持つストック効果には、防災、環境、健康、子育て、観光など9つの側面があり、近年高い関心と注目を浴びている多くの分野に関係しています。

公園の魅力向上に取り組むことは、多くの課題の解決に対するアプローチにつながるものであり、重要性・注目度ともに高いものであると言えます。

<公園が持つ役割（ストック効果）の一般的な9つの側面>

①防災性向上効果

②環境維持・改善効果

③健康・レクリエーション空間提供効果

④景観形成効果

⑤文化伝承効果

⑥子育て、教育効果

⑦コミュニティ形成効果

⑧観光振興効果

⑨経済活性化効果

◆安全・安心効果

①防災性向上効果

災害発生時の避難地、防災拠点等となることによって都市の安全性を向上させる効果

◆生活の質の向上効果

②環境維持・改善効果

生物多様性の確保、ヒートアイランドの解消等の都市環境の改善をもたらす効果

③健康・レクリエーション空間提供効果

健康運動、レクリエーションの場となり心身の健康増進等をもたらす効果

④景観形成効果

季節感を享受できる景観の提供、良好な街並みの形成効果

⑤文化伝承効果

地域の文化を伝承、発信する効果

⑥子育て、教育効果

子どもの健全な育成の場を提供する効果

⑦コミュニティ形成効果

地域のコミュニティ活動の拠点となる場、市民参画の場を提供する効果

◆生産拡大効果

⑧観光振興効果

観光客の誘致等により地域の賑わい創出、活性化をもたらす効果

⑨経済活性化効果

企業立地の促進、雇用の創出等により経済を活性化させる効果

引用：「都市公園のストック向上に向けた手引き」（国土交通省公園緑地・景観課）平成28年5月

(2) 現在の公園をとりまく課題

●新型コロナの感染拡大を経たニューノーマル社会への対応

コロナ禍において「三密」を回避できる都市オープンスペースとしての価値が再評価され、身近な公園への需要が急速に高まる中、ICTの進展やテレワークの定着により、「日常のすぐそばに豊かな自然がある」という滋賀ならではの価値が、これまで以上に重要になっています。

これからの公園は、仕事・暮らし・心身の回復が調和するライフスタイルの拠点として、新たな役割を担うことが期待されます。自然の中で創造性や生産性を高める新しい働き方のサポートや、読書・休息、多世代のゆるやかな交流を楽しめる屋外のリビングのような空間が求められています。

●地球環境問題（温暖化、異常気象等）への取組

琵琶湖を擁し、豊かな水系と森林に囲まれた滋賀県では、その自然環境を次世代へ継承していくことが重要です。公園には、単なるレクリエーションの場としてだけでなく、雨水の貯留・浸透機能を備えた「グリーンインフラ」として、気候変動への適応や防災・減災に貢献する空間としての機能が求められています。

さらに、生物多様性の保全や温室効果ガスの吸収といった環境保全機能の強化とともに、環境学習・自然体験の場を通じて県民の環境意識を育むことが重要です。自然と共生する暮らしを支えながら、脱炭素社会の実現に向けた滋賀らしい環境拠点としての役割が求められています。

●社会構造変化による孤独・孤立、コミュニティ衰退への対応

単身世帯の増加や地域とのつながりの希薄化が進む中、公園には世代や立場を超えて誰もが気軽に集い、人と人をゆるやかにつなぐ交流空間としての機能が求められています。

日常的な散歩や利用を通じて自然な見守りやふれあいが生まれることで、人と地域とのつながりが深まり、多世代が互いに支え合えるようになります。こうした、地域コミュニティの核となる新たな拠点を目指した具体的な取組の展開が求められています。

●市民・民間事業者の意識変化

滋賀県には、近江商人の「三方よし」に代表されるように、民間が公共を支え、地域のために力を尽くす自治の精神が受け継がれています。これからの公園は、その精神を活かしながら、多様な主体が協働して育てる公共空間へと発展していくことが求められています。

さらに、琵琶湖の環境保全活動に象徴される「共助・共創」の力を公園運営にも広げることで、人と地域がともに成長する持続可能な仕組みの構築が必要です。

●人口減少・少子高齢化社会への適応

滋賀県では、今後、人口減少・少子高齢化が急速に進展し、地域を取り巻く環境が大きく変化していきます。こうした中、公園は地域の暮らしを支える重要な基盤として、その価値をさらに高めていくことが期待されます。

そのため、これからの公園は高齢者の健康づくりや生きがいづくり、子どもたちの健やかな成長を育む場として、世代を超えて地域に寄り添う機能の充実が不可欠です。ICT等を活用した地域の活力と豊かな暮らしを支える滋賀らしい公園のあり方を追求していくことが求められています。

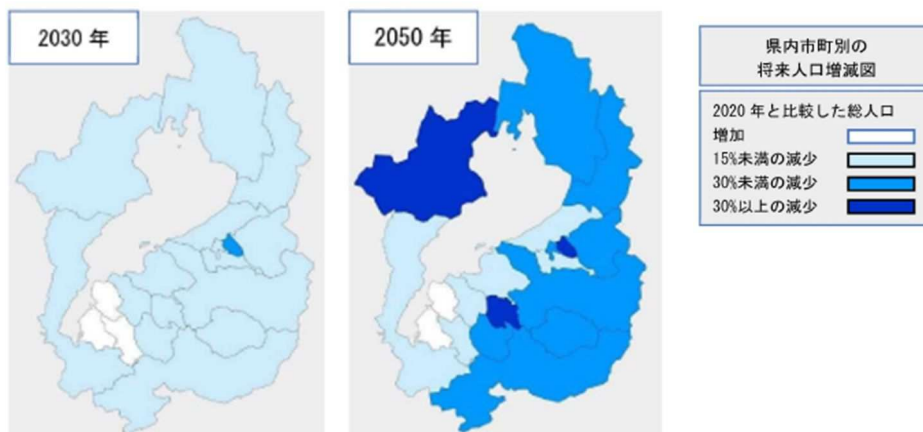
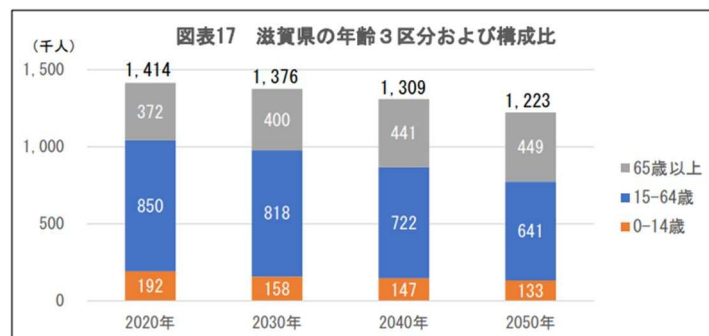


図 県内市町別の人口増減図

出典：滋賀県人口ビジョン 令和7年（2025年）12月更新

2.2.県が管理する公園の現状と課題

(1) 県が管理する公園について

滋賀県には、琵琶湖の美しい湖岸風景をはじめ、里山や山間部の豊かな自然環境を生かした多様な公園が、琵琶湖沿岸から内陸部に至るまで数多く整備されています。これらの公園は、四季折々の風景や生きものと触れ合えることができる貴重な空間として、県民のみならず多くの来訪者に親しまれています。

特に、滋賀県は県土に占める自然公園の割合が全国一位となる 37.3%を誇っており、自然環境の保全と活用が高い水準で両立されている地域であると言えます。このような背景のもと、都市部に整備された都市公園や広域的な自然公園に加え、地域の特色を反映した条例公園（滋賀県が独自の条例を定めて管理・運営している公園）など、さまざまな目的に応じて多様な公園が整備され、それぞれの公園の特徴を活かした取組が行われています。

こうした多様な公園が有機的に連携することで、THE シガパークとして魅力あるネットワークを形成し、人々の憩いや交流、環境学習の場として重要な役割を果たしていく必要があります。

表 THE シガパーク一覧（1/2）

公園名		湖岸緑地	びわこ文化公園 （文化ゾーン）	びわこ地球市民の森	奥びわスポーツの森	春日山公園	尾花川公園	彦根総合スポーツ公園	希望が丘文化公園
所管所属課		THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	スポーツ課	文化芸術振興課
所在地		大津市他7市	大津市	守山市	長浜市	大津市	大津市	彦根市	蒲生郡竜王町 野洲市
区分		都市公園	都市公園	都市公園	都市公園	都市公園	都市公園	都市公園	条例公園
公園種別		広域公園	総合公園	都市緑地	総合公園	総合公園	近隣公園	運動公園	
概要（設置目的）		琵琶湖総合開発計画に基づき、湖水位の低下による湖周辺の自然環境の悪化を防止するとともに、レクリエーション利用の増進を図るために整備された公園	「びわこ文化公園都市構想」の「芸術、教養の文化クラスター」に位置付けられ、滋賀県を代表する芸術、教養の文化施設群を都市公園内に配置した公園	新野洲川の完成により廃川となり、平地化事業の行われた南流の一部を「豊かな森」として再生した公園	県政100年記念事業の一環として、休養とスポーツの場として整備された場所を、都市公園として位置づけた公園	自然環境や古墳群などの保全と活用を図りながら、県民の憩いとレクリエーションの場として整備された公園	びわこ競艇場と近隣住宅との緩衝帯として開設した公園	広く県民の方々が気軽にスポーツを楽しむとともに、次世代を担う子供や若者が夢を育てることが出来、スポーツを通じて世代や性別、障害の有無などを問わず、多様な人びとが交流できることを目的として整備された公園	すぐれた自然環境を保護し、活用し、県民にいいの場を提供するとともに、広く県民文化、体育の向上に資するため、滋賀県希望が丘文化公園を野洲市、湖南市および蒲生郡竜王町にわたる区域に設置する。
開設年度		昭和55年	昭和55年	平成14年	昭和62年	平成13年	昭和51年	令和5年	昭和47年
開設面積		157.48ha	43.2ha	42.5ha	21.3ha	23.4ha	1.05ha	19.62ha	416ha
根拠法令		都市公園法	都市公園法	都市公園法	都市公園法	都市公園法	都市公園法	都市公園法/滋賀県都市公園条例	滋賀県希望が丘文化公園の設置および管理に関する条例
管理方法		指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度
実施している取り組み		・適正利用促進の取組を実施	・Park-PFIによるインクルーシブトイレやカフェの設置 ・県立美術館整備計画の策定（公園と一体となった整備を含む）	・Park-PFIによる大型遊具やカフェの設置 ・森づくりサポーターとの協働の森づくり	2025.10スケートボードパーク新規オープン	2025.9スケートボードパーク新規オープン	—	・各種スポーツ大会、競技会の実施 ・観客に見てもらうことを目的とした、興行的なスポーツ大会の実施	・PFI手法による公園全体の活性化に向けた取組 ・民間団体と連携した事業の実施
公園の特徴	大切な自然を守り・引き継ぐ公園	○	○	◎	○	◎			○
	子供が安心して遊び・学べる公園	○	○	○	○	○	◎		○
	多くの人が集まる賑わいのある公園	◎	◎	○	○	○		○	◎
	体力づくり・スポーツに励める公園				◎			○	○
	文化・芸術や歴史に触れる公園		○						
	その他							◎ スポーツ大会やイベントを通じて人が集まることで、魅力が高まる公園	

表 THE シガパーク一覧 (2/2)

公園名		矢橋帰帆島公園 (苗鹿公園含む)	近江富士花緑公園	自然公園 園地及び自然歩道等	左記のうちの 湖岸緑地 岡山園地	左記のうちの 湖岸緑地 新旭浜園地	びわ湖こどもの国	陶芸の森	安土城考古博物館 (近江風土記の丘)
所管所属課		THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	子ども若者政策・私学振興課	イノベーション推進課	文化財保護課
所在地		草津市	野洲市		近江八幡市	高島市	高島市	甲賀市	近江八幡市
区分		条例公園	条例公園	自然公園	自然公園	自然公園	児童厚生施設	なし	なし
概要(設置目的)		都市の健全な発達および公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質の保全に資するため設置された滋賀県琵琶湖流域下水道事業の中で、下水道施設用地を有効活用するために整備された公園	県民に四季を通じて花と緑に親しむことのできる場および森林を利用した保健休養の場を提供することにより、県民の緑化意識を高めるとともに、豊かな心の醸成および健康の増進を図るため、設置された公園	優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的とした園地			次代を担う児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにするための施設として設置された公園	県民の陶芸に対する理解と親しみを深め、広く陶芸に関する交流の場とすることにより県の陶器産業の振興と文化の向上を図るため、設置された公園	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき、郷土の文化財を保存し、かつ、その活用を図り、もって県民文化の向上に資するため、設置された公園
開設年度		昭和 58 年	平成4年		昭和57年	昭和58年	平成4年	平成2年	平成4年
開設面積		18.2ha	52.2ha		9.3ha	13.3ha	83901.91㎡	400,000㎡	67836.5㎡
根拠法令		滋賀県琵琶湖流域下水道事業の設置等に関する条例	滋賀県立近江富士花緑公園の設置および管理に関する条例	自然公園法	自然公園法	自然公園法	児童福祉法	滋賀県立陶芸の森の設置および管理に関する条例	滋賀県立安土城考古博物館の設置および管理に関する条例
管理方法		指定管理者制度	指定管理者制度	委託および直営	委託	委託	指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度
実施している取り組み		・公園魅力向上の検討 ・子どもの広場の遊具リニューアル	・森林環境学習「やまのこ」をはじめとした自然体験 ・トイレ洋式化等の小規模施設改修 ・公園魅力向上の検討	-	-	園地の一部区域の近隣事業者と、事業計画について協議を開始している。	・指定管理者による自主事業をはじめとした、子どもの健康を増進し、情操を豊かにする取組を実施している。	・作家市等のイベントの実施 ・陶芸作品の屋外展示 ・あり方検討に基づく施設の見直し	・指定管理者による博物館での展示 ・指定管理者による公園環境の維持管理
公園の特徴	大切な自然を守り・引き継ぐ公園		○	◎	◎	◎		○	
	子供が安心して遊び・学べる公園	○	◎	○			◎	○	
	多くの人が集まる賑わいのある公園	○		○			○	◎	○
	体力づくり・スポーツに励める公園	○							
	文化・芸術や歴史に触れる公園							◎	◎
	その他	◎ 地域環境対策面から地域住民サービスの向上を図るための公園							

1 (2) 公園の更なる魅力向上に向けた課題

2 公園のさらなる魅力向上に向けては、社会環境や人々の価値観の変化を踏ま
3 えた多角的な課題への対応が求められています。

5 ●時代の変化に合わせた魅力ある公園のあるべき姿の提示

6 少子高齢化やライフスタイルの多様化が進む中で、子どもから高齢者まで
7 の各世代に加え、これまで公園を利用してこなかった人や、身体的・社会的
8 な理由で利用が難しい人にも配慮した空間づくりが求められています。また、
9 子育て期だけでなく、子育て後や高齢期など、それぞれのライフステージに
10 応じて公園との関わり方を提案し、継続的に利用してもらえる仕組みを整え
11 る必要があります。

13 ●利用者目線に配慮した公園づくり

14 公園の種別や所管にとらわれず、連携しながら一体的な対応を進める必要
15 があります。特に、子どもの視点を取り入れた公園整備の仕組みを構築する
16 ことで、安全性や遊びの創造性を高めることが期待されます。さらに、県内
17 利用者に限らず、観光客や外国人利用者の増加を見据え、多言語対応や文化
18 的背景の違いにも配慮したサービスの充実が求められます。

20 ●県の財政的制約を踏まえた施設の老朽化等への対応

21 県の厳しい財政的制約に加え、今後のさらなる人口減少社会の到来に伴う
22 税収の減少が懸念される中、老朽化した既存施設の更新や長寿命化を計画的
23 に進める必要があります。そのため、維持管理コストの縮減や効率化を図り
24 ながら、気候変動など新たな課題にも対応し、安全で快適な利用環境を確保
25 していくことが求められています。

27 ●公園管理者・造園技術者の確保と新たな管理体制の構築

28 公園管理者や造園技術者の不足が進む中で、専門人材の育成や確保に加
29 え、民間活力の活用や地域住民との協働による新たな管理体制の構築が求め
30 られています。

●自然環境の保全と利用のバランス

公園が持つ豊かな自然環境や生物多様性の保全に配慮し、地域の自然の魅力を守り育てることに貢献しながら、過度な利用による環境負荷を抑え、誰もが豊かな自然と心地よく触れ合える機会を持続的に提供していく必要があります。

●公園への交通アクセスの対応

公共交通機関との連携強化や案内表示の充実、広域的なアクセス環境の改善により、県内外から誰もが訪れやすい環境整備が求められます。

●「滋賀県基本構想実施計画第2期」に基づく施策の展開

公園は、からだとこころの健康づくりの場としての機能を有するとともに、子どもを中心とした社会づくりや、暮らしを支え豊かにする基盤として重要な役割を担っています。さらに、地域住民の交流を促進し、安心・安全なコミュニティ形成にも寄与する空間として、その価値を一層高めていくことが求められています。

2.3.利用者等の公園に対する思い・期待

滋賀県の公園利用者等の公園に対する思いや期待、公園の利用実態や公園へのニーズを把握するため、令和7年（2025年）に県内外の約4,000人を対象に、公園に関するアンケート調査を実施しました。

<公園アンケート調査概要>

【名称】公園に関するアンケート調査

【目的】滋賀県の公園の利用実態や公園へのニーズ等を把握する

【方法】WEBアンケート：県ホームページに掲載

マーケティングリサーチ：調査会社のモニターパネルを活用

【対象】滋賀県内外の15歳以上

【回答数】2,442件

WEBアンケート：県内197、県外45

マーケティングリサーチ：県内1,000、県外1,200

【期間】令和7年11月14日(金)～令和7年12月1日(月)

【内容】利用実態、公園のニーズ（公園に対する思い・期待）の調査

表 質問内容

種別	内 容	回答形式
利用 実態	よく利用する（年1回以上）公園	選択回答（複数可）
	利用する公園の主な目的	選択回答（複数可）
	一番利用する公園の利用頻度	選択回答
	一番利用する公園の滞在時間	選択回答
	利用する公園の魅力	選択回答（複数可）
	利用する公園の気になる点	選択回答（複数可）
	公園を利用しない理由	自由記述
ニーズ	公園で、新たにやってみたい事、 やってほしい事	選択回答（複数可）
	公園での心に残る思い出や、風景	自由記述
	公園の魅力向上・THE シガパークの取組に ついて、期待すること	自由記述
認知度	「THE シガパーク」の認知度	選択回答

(1) 利用者等の公園に対する思い

●滋賀の公園の魅力

アンケート結果より、滋賀の公園の魅力は、「散歩や散策ができる」、「風景がきれい」という意見が大多数であり、次いで、「動植物が多く生育するなど自然が豊か」でした。

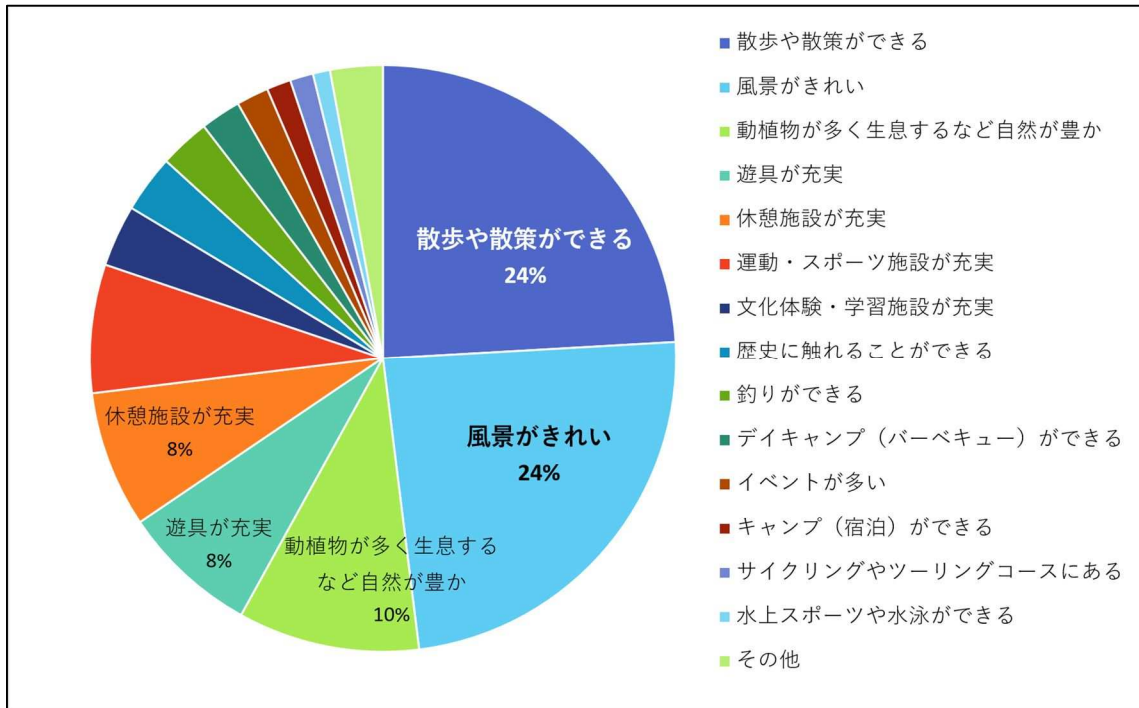


図 利用する滋賀の公園の魅力（アンケート結果）

●公園での心に残る思い出や風景

アンケートの自由記述より、公園での心に残る思い出や風景は、“ライフステージごとに積み重なり、人生を豊かにしている”傾向が見えました。

<自由記述の抜粋>

- ・子どものころは、家族と湖岸の公園でピクニックをした。学生時代は公園に走りに行き、トレーニングをした記憶がある。湖岸から見る景色はどこから見ても癒やされる。
- ・仕事で忙しく過ごしている日々の中で、子どもを連れて公園に行き、遊具で遊んでいる姿を見ながらベンチで読書をしている時間がとても心が安らぎ、幸せを感じられる。

“公園での思い出はライフステージごとに 積み重なり、人生を豊かにしている”

◇幼少期

遊具遊びや鬼ごっこ、逆上がりの練習などを通じて身体を動かし、友達との関わりの中で社会性を育みます。また、夕暮れの寂しさや夜の怖さ、転んだときの痛み、美しい景色に心を動かされる感動など、多様な感情を経験する場でもあります。

◇青年期・成人期

青年期には友人との語らいや祭り、部活動、デートなどを通じて人とのつながりを深め、成人期には、休息や気分転換、一人の時間を過ごす場として利用されます。

◇子育て期・高齢期

子育て期には家族とのピクニックや子どもの成長を見守る場となり、高齢期にはウォーキングや休息、孫とのふれあいの場となります。亡き家族やペットとの思い出を振り返り、自らが幼少期に培った経験を次世代へ受け継ぐ場としての役割も担っています。

このように公園は、人生のあらゆる段階において、人々の記憶や体験とともにあり続ける大切な場所となっています。

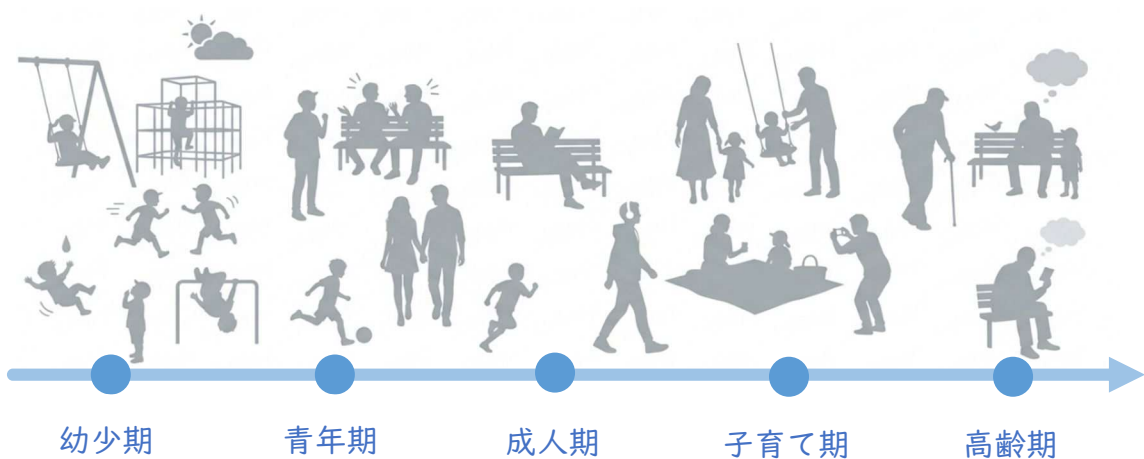


図 ライフステージによる公園の風景

●公園の位置づけや公園に対する思い

アンケートの自由記述より、公園は“自由な空間として、多様な人や利用を受け入れ、出会う場となっている”ことが伺えました。

<自由記述の抜粋>

- ・公園は誰でも利用できる場所としてウェルカムな仕組みが必要。不登校の子どもたちが自分であれる場所が、家庭以外にたくさんあることが理想。
- ・それぞれの目的に応じて公園に集うことで、小さな子ども、保護者、働く世代、人生の先輩世代が、互いに熱中することや大事にしていることを見ることができる環境を意識してつくりたい。多様な価値観が理解し合える日常を公園はつくれると思う。

“多様な人々や活動を受け入れ、
新たな出会いや交流を育む場”

乳児から大人まで、一人でも家族でも、障がいの有無や国籍にかかわらず、不登校の子どもや観光客を含め、誰もが自由に過ごせる空間としての役割が期待されています。

また、草野球や虫捕り、携帯ゲームやトレーディングカードでの遊び、ダンスやアーバンスポーツなどの活動に加え、散歩中のあいさつや偶然出会った人との交流、野鳥や昆虫などの生きものとの触れ合いなど、公園は日常の多様な風景を生み出し、人々の暮らしや人生を豊かにする場となることが期待されています。

（２）利用者等の公園に対する期待

●公園の魅力向上・THE シガパークの取組について、 期待すること

アンケートの自由記述より、公園の魅力向上・THE シガパークの取組について期待することは、**県内利用者は「日常の延長としての利便性や快適性」、
県外利用者は「非日常としての体験」**を求める傾向にありました。

<自由記述の抜粋>

県内利用者

- ・トイレが古いところもあるので、子どもでも安心して使用できるよう、改良してほしい。
- ・屋内で遊べる施設が少ないため、真夏の暑い時期や、雨の日など、公園にそのような施設があると大変助かるし、魅力に感じる。
- ・カフェなどが少ないため、ドライブがてら立ち寄れるカフェのような施設があると嬉しい。

県外利用者

- ・駐車場や利用料の無料化、フォトジェニックな場所の増加。
- ・県外の人も滋賀県に遊びに行くスポットのひとつになるといい。
- ・滋賀県には琵琶湖という唯一無二の魅力があり自然も豊かであるため、少子高齢化が進む中、公園は多世代がそれぞれ楽しめる憩いの場であってほしい。

**県内利用者は「日常の延長としての利便性や快適性」
県外利用者は「非日常としての体験」**

県内利用者は、日常的な公園利用としての質の向上と、多様な利用者へ対応を求める傾向にあり、一方県外利用者は、観光・レジャーの目的地としての魅力向上や低廉なコスト、滋賀の自然への憧れ等、都会にはない非日常的体験を求める傾向にあります。

●公園施設の要望

アンケート結果より、公園の気になる点として、「売店や飲食店がない」、「トイレが使いづらい」「駐車場台数が少ない」「日陰が少ない」が多く、施設の充実を求めていることが伺えました。

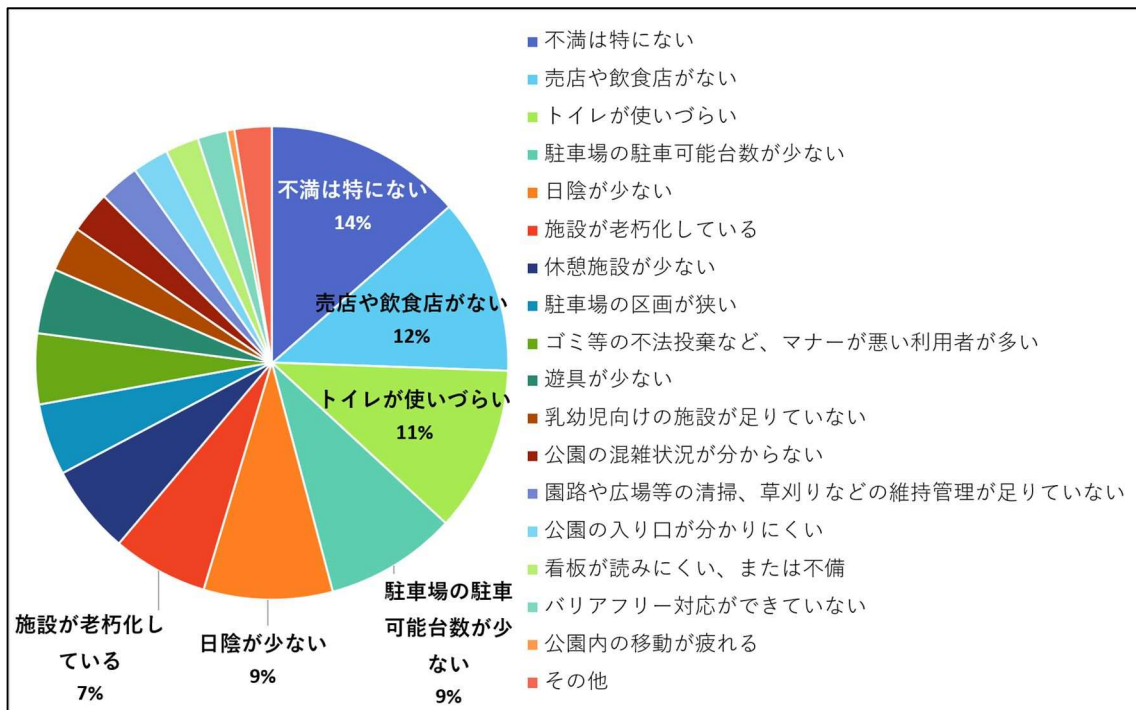


図 利用する公園の気になる点（アンケート結果）

●公園を利用しない人・利用できない人の主な理由

アンケートの自由記述より、公園を利用しない人・利用できない人の主な理由は、“子どもの成長やライフスタイルの変化に伴い、公園との関わりが希薄化したことや、距離的な制約によって来訪機会の限定されている”ことが伺えました。

<自由記述の抜粋>

- ・子どもが大きくなり、公園へ行く機会がなくなった。
- ・自宅から公園が遠いため行きにくい
- ・公園は子供たちの遊び場だと思うので、年寄り出来るだけ散歩などで一般の道をひたすら歩くことにしている。
- ・成人女性が利用するタイミングがない。

子どもの成長やライフスタイルの変化に伴い 公園との関わりが希薄化 距離的な制約による来訪機会の限定

全体として、利用する機会や目的、理由など、公園利用の必要性が認識されにくい傾向にありました。“公園が遠い”に関しては、公園までの距離が来園のハードルとなっている一方で、その距離を上回る魅力や価値が感じられにくい傾向にあると考えられます。

また、子どもが小さい頃は利用していたが、子どもが成長して利用しなくなってしまった、子どもがいないから利用しないなど、“子どもが利用する場所”として位置づけされている傾向もあり、“利用する機会や目的がない”理由のひとつとなっています。

その他、一人では行きづらい、公共交通で行けない（交通手段がない）、体調不良、体力低下、老化により出かけられなくなった、などの回答がありました。

●子どもたちが公園に期待すること

今回のアンケート調査とは別に、子どもたちの意識や状況等を把握するため、県内の小学１年生～大学生世代の約 3,000 人のみなさまを対象とした「滋賀の子どもの声調査」を実施しました。

<滋賀の子どもの声調査概要>

【名 称】滋賀の子どもの声調査

【目 的】県内の子どもたちの意識や状況、思い等を様々な観点から把握

【方 法】WEB 調査

【対 象】県内の小学１年生～大学生世代

【回答数】3,078 件（うち公園に関する自由記述回答数：1,463）

【期 間】令和７年７月１日（火）～７月３１日（木）

【内 容】①あなたのこと ②滋賀県についてあなたが考えること

表 質問内容

種別	内 容	回答形式
①あなたのこと	性別	選択回答
	学年・世代	選択回答
②滋賀県についてあなたが考えること	地球温暖化を防ぎながら暮らしやすい社会にするために、なにができるだろう？	自由記述
	滋賀県のびわ湖や自然は将来どうなってほしい？	自由記述
	みんなが安心して笑顔で暮らせるまちってどんなまち？	自由記述
	みんなが考える男女平等ってどんな社会？ そんな社会にするためにどんなことが大切？	自由記述
	農業や水産業のことをどう思う？ これからも続けていくためにはなにが大切？	自由記述
	どんな公園に行ってみたい？	自由記述

公園に関するアンケートの自由記述より、子どもたちは、“滑り台やブランコなどの遊具やアスレチック、楽しめる・遊べるイベント”などを求めている傾向が伺えました。

＜自由記述の抜粋＞

- ・ 大きい公園、楽しい公園、わくわくする公園がいい。
- ・ 屋台やキッチンカーなど、食べ物が売っているスペースがあり、子どもから大人までみんなが楽しめるイベントや季節に合うお祭りが開催されている公園がいい。
- ・ キレイなトイレや休憩スペース、自動販売機がある快適な公園がいい。
- ・ 夏でも公園を楽しめるように、大きな屋根や室内で遊べる場所、涼める休憩場所、涼めるじゃぶじゃぶ池がある公園を作ってほしい。
- ・ 遊具や水遊びなどの遊び場、ボール遊びや色々なスポーツができる場所、静かに座って過ごせる場所、自然と触れ合える場所を作ってほしい。

“滑り台やブランコなどの遊具やアスレチック、
楽しめる・遊べるイベント”

全体として、遊具や広場、プール、水遊びなどの「遊び場」や、季節のお祭りなど「イベント」を求める声が多くありました。加えて、“誰もが”“安心して利用できる”公園であってほしいと望む傾向がありました。

また、トイレやごみ箱などの衛生面を気にする声がありました。

3章 THE シガパークの目指す姿

従来の人間中心の利用にとどまらず、多様な生きものが息づく「自然そのものも健康になる」という視点で、今後は、公園が主体となって人と自然、地域を豊かにつなぎ、すべてを健康にして次世代へ継承していくという役割を果たしていくため、THE シガパークの目指す姿を以下のとおり定めます。

琵琶湖を中心に、 人の暮らしと心、自然が健やかになる “THE シガパーク”

すべての人の憩い・交流・体験の場として、
子どもたちが美しい自然の中で、
健やかに遊び、学ぶことができる場として、
すべての生きものの生息・生育環境として、

琵琶湖を中心に、滋賀県全体が
水と緑と人でつながる一つの大きな公園となり、
人の暮らしと心、自然環境や生きものが
健やかになる姿を目指します

完成後、差し替え



図 THE シガパークの将来像

4 章 基本理念と取組方針

4.1.基本理念

県内の公園どうしが互いにつながり、
人、自然、地域コミュニティをつないで、
三方が健やかになる公園を次世代に継承する



THE シガパークの目指す姿を踏まえ、
公園同士がつながることで、
人、自然、地域コミュニティを相互につなぎ、
三方を健やかにする公園を
次世代に継承していくことを基本理念とします

4.2.取組方針

基本理念のもと、

【美】「うつくシガパーク」

【優】「やさシガパーク」

【楽】「たのシガパーク」の3つの視点で、

「レベルアップ」、「タイアップ」、「チームアップ」により

THE シガパークの目指す姿の実現に向け取り組んでいく

【3つの視点】

【美】
うつくシガ
パーク

滋賀の自然を活かした景観の美しさをはじめ、トイレなどの公園施設の美しさ、利用者の美しい利用マナーの推進など「美しい公園」

【優】
やさシガ
パーク

子どもから高齢者、障がい者や外国人を含めた誰もが利用しやすく、人間だけでなく動物をはじめ鳥や虫、草花などの生きものを含めた自然も大切にする、「優しい公園」

【楽】
たのシガ
パーク

ふらっと訪れただけで気持ちが楽になり、シガパークでしか見られないもの、体験できないことが充実していて、楽しい時間をたっぷり過ごすことができる、「楽しい公園」

【取組：スリーアップ】

レベルアップ
＜機能強化と
利便性向上＞

- ・（魅力事業）それぞれの公園の魅力を伸ばす事業
- ・（ベース事業）利用者が快適に過ごせるための施設整備
- ・（DX 事業）利用者の利便性向上に資する取組

タイアップ
＜共創＞

- ・ボランティア活動・地域コミュニティ活動との協力
- ・市町の公園・民間施設等との連携
- ・公民連携、寄付

チームアップ
＜連携＞

- ・一体的な広報、プロモーション、イベント連携
- ・公園と県の様々な施策との連携

5章 THE シガパークの実現に向けて

(1) 推進体制

令和5年度から庁内の部局横断で進めてきた THE シガパークの取組をベースに、県民や公園利用者、関係者等とともに、市町や民間施設、地域コミュニティなども含めた共創による取組（みんなでつくる THE シガパーク）に深化します。



図 みんなでつくる THE シガパークのイメージ

(2) 市町・民間・地域コミュニティ等との連携

県全体を一つの大きな公園としてつなげていくためには、県の公園だけでなく、地域の身近な市町の公園や、民間・地域が管理する多様な緑の空間が、それぞれの垣根を越えて連携していくことが望まれます。

このため、THE シガパークの趣旨に賛同し、ともに参画・連携が可能な公園等については、広く THE シガパークを構成する公園へ含めていく予定です。

1 (3) THE シガパークビジョン等の見直し

2 THE シガパークビジョンは必要に応じて 10 年に 1 回程度の見直しを予定
3 しています。

4 行動計画は、5 年に 1 回策定し、必要に応じて順応的に見直していく予定
5 です。

6 THE シガパークは、「滋賀県全体が水と緑と人でつながる一つの大きな公
7 園となった姿」と定義していますが、そこには更なる可能性があると考えま
8 す。様々な公園だけでなく、山や川、都市や農地、生活空間など一つの大
9 きな公園としてネットワークを構築することも考えられます。そして、生態
10 系ネットワークの強化や、人と自然の新たな出会いや関係を構築する場とし
11 て、人々や人と社会をつなぐ現代社会の新たなコモンズとして、機能を発揮
12 することも想定されます。

13 将来、THE シガパークビジョンを見直す際、このような可能性にも目を向
14 けて検討されることを期待します。

第Ⅱ編 第1期行動計画 2030

1 章 行動計画の概要

行動計画は、THE シガパークビジョン（第Ⅰ編）を実現するために、5か年サイクルで策定します。第Ⅰ期の対象期間は、2026～2030年とします。

THE シガパークビジョン

・第Ⅰ編 THE シガパークビジョン

時代を超えた公園の将来の目指す姿や基本理念

20～30年後に次の世代に引き継ぐための取組方針

・第Ⅱ編 行動計画

THE シガパークビジョンを実現するための行動計画

（5か年毎に策定）

<構成と対象期間のイメージ>

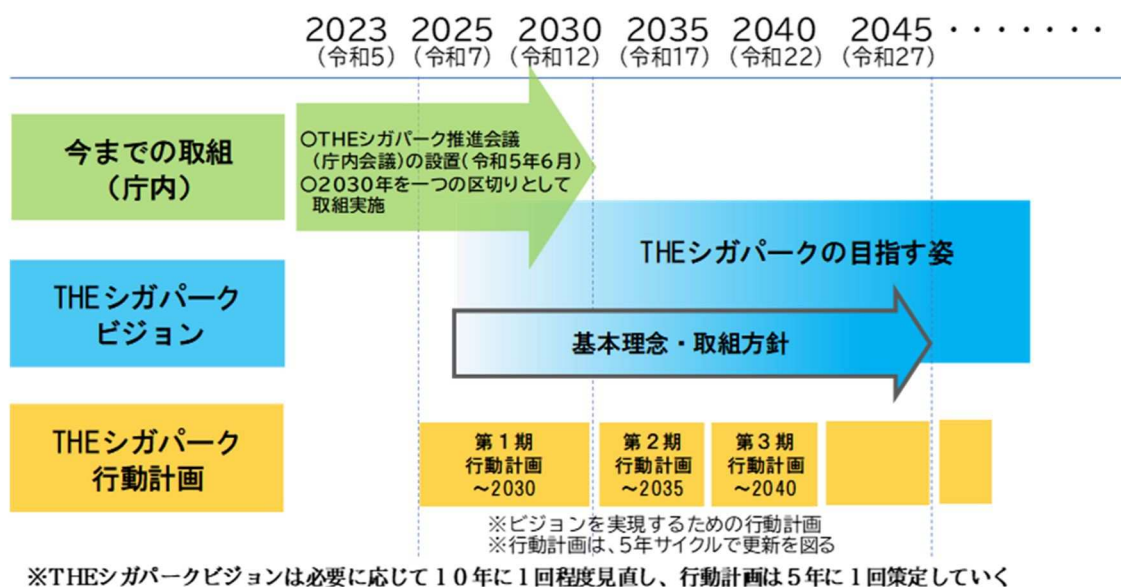


図 行動計画の構成と対象期間

2 章 2030 年の目標

THE シガパークビジョンの実現に向けて、第Ⅰ期行動計画期間に目指す目標を示します。

◆目標

・県民等との共創による取組

（みんなでつくる THE シガパーク）に深化

市内連携の継続、地域コミュニティや市町、民間との
連携体制構築

・THE シガパークの認知度向上

（例：アンケートによる認知度〇%以上）

・おもてなし施設（トイレ、駐車場、サイン、暑熱対策等） の基準を設定し、ベース事業により、整備に着手

（例：整備率〇%以上）

・魅力事業の設定と、その施設整備により 魅力（満足度、利用者数）向上を図る

※今後行動計画作成と合わせて設定予定

3章 実施内容とロードマップ

第Ⅰ期行動計画の実施内容は、「レベルアップ」、「タイアップ」、「チームアップ」のスリーアップの取組をベースに、公園をとりまく課題解決や、個人や各主体が自分事として公園に関わることができるように項目を定めます。

また、ロードマップを作成し、順応的な見直しをしながら進めていきます。

3.1.レベルアップ

(1) 魅力事業

◆それぞれの公園が特徴と魅力を伸ばすための施設整備、公園再整備

運動場の整備、スケートボードパークの開設など、各公園の特徴や魅力を活かす施設の整備・再整備を実施していきます。

また、ビワイチと連携し、琵琶湖沿いのビュースポットの整備、更なるバリアフリー対応などを進めます。

(2) ベース事業

◆利用者が快適に過ごせるための施設整備

トイレ、駐車場、サイン等の“おもてなし施設”が、一定の基準を満たした状態となるよう、THE シガパーク共通のデザインコードを定め、それに基づき全公園の施設のレベルアップを図ります。

◆公園 DX

公園管理運営においてデジタル技術やデータを利活用し、公園管理者の業務効率化と利用者サービスの向上等を図ります。

◆利用者の利便性向上、適正利用に資する取組

駐車場の有料化の検討や誘導動線の検討、木の伐採や根の除去などを行い、利用者の利便性、快適性を図ります。

3.2.タイアップ

(1) ボランティア・地域コミュニティ活動

◆各公園の活動団体・地域コミュニティ活動との 多様な形での協力関係の構築

ボランティアや、イベント、環境教育、自然を活かした体験学習などの活動について、各種団体との多様な形での協力関係の構築に取り組みます。

- ・ ボランティア活動団体 — 清掃活動・維持管理
- ・ 学術・文化・芸術関連団体 — イベント・マルシェの開催
- ・ 子ども・教育関係団体 — 教育カリキュラムとの連携
- ・ スポーツ、健康関係団体 — 体験型イベントや環境教育 など

◆公園利用者が公園に気軽に関われる仕組みやツールの構築

普段活動をしている団体の他、公園に立ち寄った人が気軽に公園に携われる仕組みや、目的がなくても訪れたくなる仕組みを構築し、愛着の持てる公園づくりを目指します。

(2) 公民連携、寄付

◆PPP/PFI、寄付等を活用した民間との連携

公園利用者に最も期待されていたカフェや飲食店などの経営や PR イベントなどを実施してもらうことで、公園が事業者と利用者をつなぐ新たな場となり、公園の収入増にもつなげます。

また、公園に対する寄付や寄贈による公園のハード面での魅力向上や、ネーミングライツ制度による対価を活用した事業の安定的な運営を図るとともに、地元企業の PR 等の地域活性化にも貢献します。

◆イベント開催等による公園の利活用

メーカーや企業などのタイアップイベントの開催や、大型フェスの誘致、イベントの公園同時開催などにより、賑わい創出を図ります。

1 (3) 市町の公園・民間との連携

- 2 ◆市町の公園・民間のオープンスペースとの連携（イベント、広報）等
3 イベントや広報を効果的に実施するため、市町の公園や民間のオープンス
4 ペースとの連携を検討します。

6 3.3.チームアップ

7 (1) 一体的広報・イベント連携

- 8 ◆ポータルサイトでの一体的な広報や、魅力プロモーション
9 THE シガパークポータルサイトを活用したイベント等の一体的広報や、
10 観光部局などと連携した魅力プロモーションを実施します。
- 11 ◆公園同士が連携したイベントの実施や共通サインのデザイン
12 公園間で連携したイベントを行い、共通したデザインの看板などを設置
13 することで、にぎわい創出を図ります。

15 (2) 県の施策との連携

- 16 ◆県の施策との連携
17 滋賀県の各種施策（「ビワイチ」、「健康しが」、「子ども・子ども・子ども」、
18 「MLGs」、「シガリズム」、「滋賀地域交通ビジョン」、「生物多様性戦略 2024」、
19 「動物愛護管理」等）と連携し、公園の付加価値を向上させます。

22 (3) 市町との連携

- 23 ◆市町との連携
24 市町と情報や技術を共有し、公園機能の更なる充実を図ります。
25 維持管理運営の共同実施（地域インフラ群再生戦略マネジメント：群マ
26 ネ）の導入についても検討します。

3.4.ロードマップ

THE シガパークの取組方針である「レベルアップ」、「タイアップ」、「チームアップ」のスリーアップの取組に基づく上記実施内容について、ロードマップを示します。

各項目で示されている内容は以下の通りです。

項 目	内 容
重点プロジェクト	取組の「種類」を示します
実 施 主 体	取組を進める「主な主体」を示します 県・市町・民間、地域
実施場所・担当課	取組を実施する公園・緑地等の「場所」と「県担当課」を示します。
取 組	5 カ年で実施する取組の「内容」を示します
実 施 期 間	5 カ年で実施する取組の「スケジュール」を示します

表 ロードマップ イメージ

重点プロジェクト		実施主体	2026 年 R8	2027 年 R9	2028 年 R10	2029 年 R11	2030 年 R12
レベル アップ	(1)魅力事業	県					→
	(2)ベース事業	県					→
タイ アップ	(1)ボランティア・地域コミュニティ活動	県＋地域等					→
	(2)公民連携、寄付	県＋民間等					→
	(3)市町の公園、民間との連携	県＋市町・民間					→
チーム アップ	(1)一体的広報・イベント連携	県					→
	(2)県の施策との連携	県					→
	(3)市町との連携	県＋市町					→

レベルアップ

【重点プロジェクト】

①魅力事業 ②ベース事業

重点プロジェクト		主な主体	実施場所 ＜担当課＞	取組	2026 年	2027 年	2028 年	2029 年	2030 年
①	②				R8	R9	R10	R11	R12

タイアップ

【重点プロジェクト】

①ボランティア・地域コミュニティ活動 ②公民連携、寄付 ③市町の公園・
民間との連携

重点プロジェクト			主な主体	実施場所 ＜担当課＞	取組	2026 年	2027 年	2028 年	2029 年	2030 年
①	②	③				R8	R9	R10	R11	R12

1 **チームアップ**

2 **【重点プロジェクト】**

3 ①一体的広報・イベント連携 ②県の施策との連携 ③市町との連携

重点 プロジェクト			主な 主体	実施場所 ＜担当課＞	取組	2026 年	2027 年	2028 年	2029 年	2030 年
①	②	③				R8	R9	R10	R11	R12

4

巻 末 資 料

- これまでの THE シガパークの取組
- 公園に関するアンケート調査結果
- THE シガパークビジョン検討委員会

● これまでの THE シガパークの取組

■ レベルアップの取組

それぞれの公園の特徴や魅力を高める施設整備を進めるとともに、トイレなどの快適な利用環境の充実や、利用者の利便性向上につながる取組を進めています。

● THE シガパークベース事業（共通）

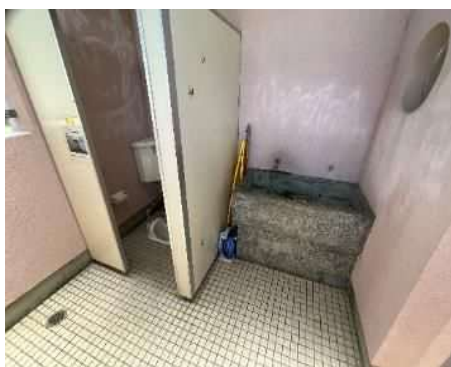
基本的な施設の魅力向上

快適なトイレ・わかりやすい看板・ゆとりある駐車場などへの更新を行っています。

Before



老朽化したトイレ



老朽化した案内看板



After



快適なトイレ



わかりやすい案内看板



図 基本的な施設の魅力向上イメージ

●THE シガパーク魅力事業（個別）

各公園の特徴的な魅力をのばすための施設整備

スケートボードパークの整備や公園の特徴を活かした活性化事業、遊具のリニューアルなどを行っています。

スケートボードパーク整備

滋賀県では、国スポ・障スポ大会に合わせて、昨今日本人選手の世界的な大活躍により人気が高まっているスケートボードについて、県内でも本格的に楽しめる場所の整備に取り組んできました。

大小さまざまなセクション（構造物）が設置され、初級者から上級者、大人から子どもまで幅広く楽しんでもいただけます。



図 春日山公園 スケートボードパーク



図 奥びわスポーツの森 スケートボードパーク

■タイアップの取組

民間事業者の活力やノウハウを活かした取組を進めるとともに、市町や民間施設と連携したイベントや情報発信、ネーミングライツや寄付制度の活用など、多様な主体との協働による公園づくりを進めています。

「三方よしの THE シガパーク PPP」をモットーに、利用者、民間事業者、公園（公園管理者）の皆にメリットがある協働・共創を目指しています。

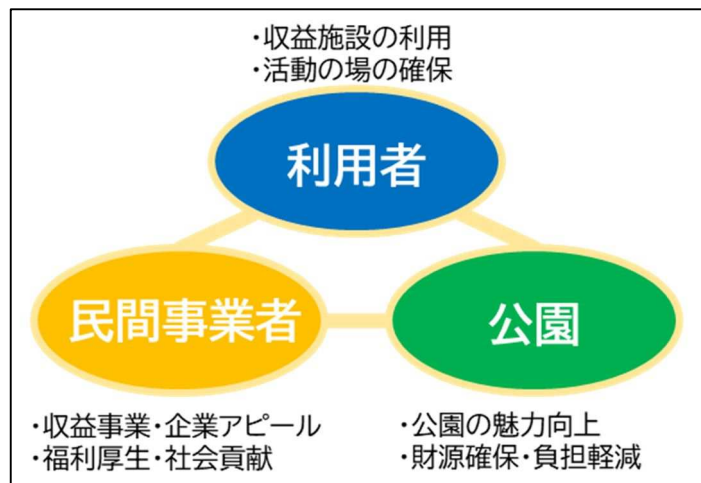


図 三方よしの THE シガパーク PPP

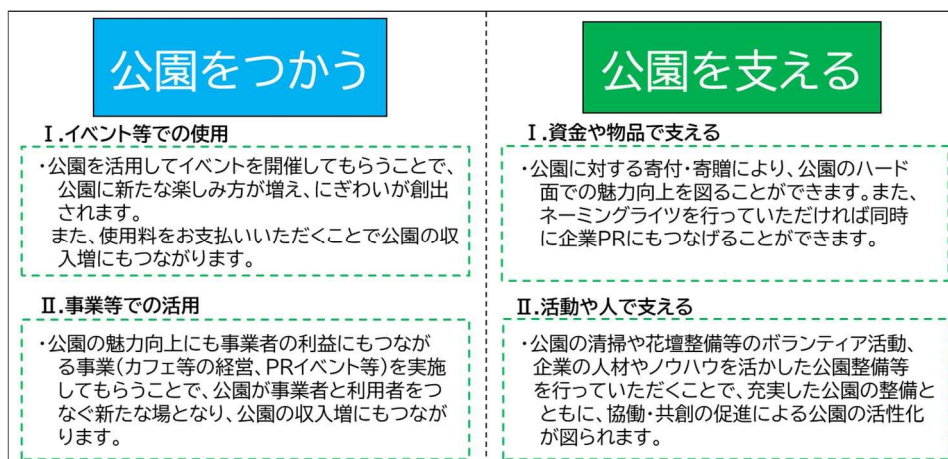


図 三方よしの「THE シガパーク」

「THE シガパーク」の実現に向けた民間協働の取組については、民間事業者の皆様にも一方的な負担を強いるものではなく、公園、民間事業者、利用者の誰にとってもメリットがある「三方よし」の取組を目指しています。

●THE シガパーク企業フォーラムの開催（R7.7.1）

民間事業者等との協働を拡げていくため、「公園を使ってできること」「公園のためにできること」を共有し、もっと「使いやすく」「支えやすく」するにはどうすべきか?を一緒に考え、三方よしの公園を一緒に育てていく、「きっかけづくり」となりました。

実施概要

【日時】令和7年7月1日(火)

14:00～17:15

【会場】滋賀県庁東館7階大会議室

【定員】100名（参加無料）

【開催内容】

- ・THE シガパーク取り組み説明
- ・基調講演「企業と公園の未来について」
兵庫県立大学赤澤宏樹 教授
- ・事例紹介「公園をつかう」
「公園を支える」
- ・パネルディスカッション
「企業とTHE シガパークの可能性について」
- ・交流会「個別なんでも相談会」



図 THE シガパーク企業フォーラム開催の様子

● 「THE シガパーク」 公民連携のご案内の作成（R7.8）

企業とシガパークの協働の形を提案するパンフレットを作成しました。



図 「THE シガパーク」 公民連携のご案内

■チームアップの取組

公園の魅力をより多くの人に届けるため、ポータルサイトでの情報発信や、公園同士が連携したイベント、共通看板の設置などの取組を進めています。

●ロゴマーク・キャラクターの決定（R6.8.8）

デザインは誰でも描ける基本の形「●▲■」で構成することで、すべての人に様々な形で自由に「THE シガパーク」を楽しんでほしいという願いを込めています。



キャラクターは左から、

- 「水」 滋賀県が誇る母なる琵琶湖、
- 「緑」 公園の豊かな自然・大地、
- 「花」 四季折々の装いで目を楽しませてくれる植物、
- 「太陽」 公園の自然を育み、子どもたちを暖かく見守る光、
- 「愛情」 公園を利用する人の思いやりや自然を大切にする心を表現しています。

●パンフレットの制作 (R7.4.8)

さまざまな特徴を持った THE シガパークを 4 つのテーマに沿って紹介しています。

『1. 自然に囲まれて、色んな体験が楽しめる』

『2. 文化・芸術と歴史に触れ、ゆっくりくつろぐ』

『3. 子どもと一緒に、遊びもスポーツも楽しめる』

『4. びわ湖の開放感を、思いっきり満喫する』

また、THE シガパークを世界へ発信し、インバウンドにも対応するため、英語版パンフレットも作成しています。



●THE シガパーク MOVIE の制作 (R5.11.3)

県民参加型の動画募集企画「みんなで作る！THE シガパーク MOVIE 投稿キャンペーン」で応募のあった動画を活用して作成しました。



【みんなでつくる！THE シガパークMOVIE】～THE シガパーク～



滋賀県公式YouTube...
チャンネル登録者数 1.71...

チャンネル登録

高評価

共有

共有

●Instagram の開設 (R6.8.8)

THE シガパークの周知のため、THE シガパークの魅力やイベントを紹介しています。

URL : <https://www.instagram.com/shigapark>

アカウント : @shigapark



SHIGAPARK



●THE シガパークフェスタの開催 (R6.11.3)

「THE シガパーク」の取り組みを広く知ってもらうきっかけとして、キックオフイベントを開催しました。

当日はメインステージの他、湖岸緑地の「流木アート」、陶芸の森の「ねんど作品作り」、びわこ地球市民の森の「モリック」など様々なブースが出展されました。



●大阪・関西万博 ブース出展（R7.6.26～27）

滋賀魅力体験ウィーク ～Discover Shiga, Go Lake Biwa～（関西パビリオン多目的エリア）にて、県内団体や企業、市町等の多様な主体の出展により、ワークショップや体験ブースで滋賀を体感する機会を創出しました。

その中で「健康しが」をテーマに令和7年6月24日（火）～6月29日（日）の間、しがの公園“THE シガパーク”PRを出展しました。

滋賀ブース概要

◆イベント名：滋賀魅力体験ウィーク～Discover Shiga, Go Lake Biwa～

◆日程：[前期] 出展テーマ：健康しが

令和7年6月24日（火）～6月29日（日）

[後期] 出展テーマ：Mother Lake Goals (MLGs)

令和7年8月27日（水）～9月1日（月）

◆場所：万博会場内 関西パビリオン 多目的エリア



●シガパークめぐりデジタルスタンプラリーの開催 (R7.11.14～ R8.2.28)

デジタルスタンプラリーの広範な参加を促すため、独自でサーバーを用意し、キャンペーン用の特設 Web サイトを設置しました。



●THE シガパーク LAKESIDE の制作（湖岸緑地 HP）

湖岸緑地公園の魅力を直感的、かつ、効果的に伝えられるよう、滋賀県ホームページ内に湖岸緑地ホームページ「THE シガパーク LAKESIDE」を制作しました。

●フォト&ムービーコンテストの開催 (R7.12.25～ R8.2.1)

すでに多くのファンがいる滋賀の公園。その人たちが「シガパーク」という言葉を通じて SNS で発信できる仕掛けとして、フォト&ムービーコンテストを開催しました。



●国スポ、障スポでの広報

国スポ、障スポの会場および駅案内所にてパンフレットを設置しました。

●公園紹介動画の制作

シガパークの魅力をもっと広げていけるよう、公園紹介プロモーション動画を制作しました。



10 公園（希望が丘文化公園／安土城考古博物館（近江風土記の丘）／彦根総合スポーツ公園／矢橋帰帆島公園／近江富士花緑公園／びわ湖こどもの国／陶芸の森／びわこ文化公園／びわこ地球市民の森／奥びわスポーツの森）のプロモーション動画（各約 3 分）およびショート動画（各約 15 秒）を制作しました。

●THE シガパーク DAY の開催（R8.3.20）

「THE シガパーク」が、リアル場で県民とつながるイベントとして、イオンモール草津のセントラルコートにおいて開催しました。

“公園を支える人たち”に焦点をあて、感謝を伝えるとともに、各種イベントを通じてシガパークの世界観を発信し、ファン層の拡大を図りました。



● 公園に関するアンケート調査結果

Ⅰ. 回答者の属性

(Ⅰ) 性別

性別	県 内		県 外		全 体	
	小 計		小 計		合 計	
	%	人	%	人	%	人
男性	55%	659	45%	551	50%	1210
女性	45%	539	54%	662	49%	1201
答えたくない	0%	5	1%	16	1%	21
合計	100%	1203	100%	1229	100%	2432

(Ⅱ) 年齢

年齢	県 内		県 外		全 体	
	小 計		小 計		合 計	
	%	人	%	人	%	人
20代未満	1%	11	6%	75	4%	86
20代	6%	68	13%	160	9%	228
30代	15%	185	19%	229	17%	414
40代	23%	273	18%	216	20%	489
50代	23%	277	18%	217	20%	494
60代	19%	232	15%	181	17%	413
70代以上	13%	156	12%	150	13%	306
合計	100%	1202	100%	1228	100%	2430

2. アンケート結果

(1)あなたが、よく利用される（年1回以上）公園を教えてください（複数回答可）。

県内利用者は、「よく利用する公園がある」、県外利用者は、「よく利用する公園がない」と回答した割合が高い傾向にありました。

また、よく利用する公園があると回答した人の内訳を見ると、全体として「琵琶湖湖岸の公園」の利用が最も多くあげられました。琵琶湖湖岸の公園は箇所数も多く、アクセス性や琵琶湖の認知度などから県内外からの利用につながっているといえます。

よく利用する公園の有無	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
よく利用する公園がある	67%	1243	24%	339	49%	1582
よく利用する公園がない	33%	606	76%	1057	51%	1663

よく利用する公園	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
よく利用する公園がない	33%	606	76%	1057	51%	1663
琵琶湖湖岸の公園	15%	280	5%	75	11%	355
矢橋帰帆島公園	8%	149	2%	25	5%	174
希望が丘文化公園	8%	140	1%	17	5%	157
その他の市町等の公園	5%	94	4%	53	5%	147
びわこ文化公園	6%	115	2%	23	4%	138
びわこ地球市民の森	5%	100	1%	17	4%	117
近江富士花緑公園	4%	71	1%	17	3%	88
びわ湖こどもの国	3%	57	2%	21	2%	78
彦根総合スポーツ公園	3%	51	2%	22	2%	73
陶芸の森	3%	51	1%	19	2%	70
奥びわスポーツの森	2%	42	2%	25	2%	67
安土城考古博物館	2%	43	1%	14	2%	57
春日山公園	2%	36	1%	7	1%	43
尾花川公園	1%	14	0%	4	1%	18
合計	100%	1849	100%	1396	100%	3245

(2)利用されている公園の主な目的は何ですか（複数回答可）。

主な利用目的は、「散策・散歩」「風景を楽しむ」「自然観察」等の自然を楽しむ利用が上位を占めています。

主な目的	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
散策・散歩（犬を含む）	19%	279	17%	68	19%	347
風景を楽しむ（写真撮影等を含む）	17%	247	20%	82	18%	329
自然観察	13%	193	15%	61	14%	254
運動・スポーツ	14%	198	12%	51	13%	249
休憩（トイレ・昼休憩を含む）	10%	143	10%	42	10%	185
遊具で遊ぶ	9%	137	7%	29	9%	166
イベント参加	4%	56	1%	6	3%	62
釣り	2%	32	4%	18	3%	50
文化体験・学習	2%	35	2%	9	2%	44
歴史探訪	2%	25	3%	14	2%	39
デイキャンプ（バーベキュー）	2%	30	2%	9	2%	39
サイクリング・ツーリング	2%	24	1%	5	2%	29
キャンプ（宿泊）	1%	15	2%	8	1%	23
水上スポーツや水泳	1%	14	1%	4	1%	18
その他	1%	21	1%	5	1%	26
合計	100%	1449	100%	411	100%	1860

年齢別に見ると、10代は「運動・スポーツ」、30代は「遊具遊び」、40代は「運動・スポーツ」が最も多く、全体の傾向と比べ特徴がありました。

		15-19歳		20代		30代		40代	
		%	人	%	人	%	人	%	人
主な目的	散策・散歩（犬を含む）	11%	5	21%	25	13%	49	15%	62
	風景を楽しむ（写真撮影等を含む）	18%	8	17%	20	13%	49	13%	54
	自然観察	16%	7	13%	16	9%	35	12%	48
	運動・スポーツ	25%	11	15%	18	15%	55	17%	71
	休憩（トイレ・昼休憩を含む）	5%	2	11%	13	9%	33	9%	37
	遊具で遊ぶ	14%	6	3%	4	19%	71	14%	58
	イベント参加	5%	2	0%	0	4%	14	5%	19
	釣り	2%	1	3%	4	4%	15	2%	10
	文化体験・学習	0%	0	3%	3	3%	13	2%	9
	歴史探訪	0%	0	2%	2	2%	7	2%	7
	デイキャンプ（バーベキュー）	5%	2	4%	5	3%	11	2%	9
	サイクリング・ツーリング	0%	0	2%	2	2%	7	1%	6
	キャンプ（宿泊）	0%	0	4%	5	2%	6	1%	6
	水上スポーツや水泳	0%	0	0%	0	1%	5	2%	8
	その他	0%	0	3%	3	2%	6	1%	4
	合計	100%	44	100%	120	100%	376	100%	408
		50代		60代		70代以上		合計	
		%	人	%	人	%	人	%	人
主な目的	散策・散歩（犬を含む）	20%	66	27%	75	21%	65	19%	347
	風景を楽しむ（写真撮影等を含む）	21%	70	21%	58	23%	70	18%	329
	自然観察	14%	46	17%	47	18%	55	14%	254
	運動・スポーツ	12%	39	8%	23	10%	32	13%	249
	休憩（トイレ・昼休憩を含む）	11%	36	12%	33	10%	31	10%	185
	遊具で遊ぶ	3%	10	3%	9	3%	8	9%	166
	イベント参加	5%	16	2%	6	2%	5	3%	62
	釣り	3%	10	2%	5	2%	5	3%	50
	文化体験・学習	2%	5	2%	6	3%	8	2%	44
	歴史探訪	2%	7	1%	4	4%	12	2%	39
	デイキャンプ（バーベキュー）	2%	6	1%	3	1%	3	2%	39
	サイクリング・ツーリング	2%	7	1%	3	1%	4	2%	29
	キャンプ（宿泊）	1%	4	0%	1	0%	1	1%	23
	水上スポーツや水泳	0%	1	1%	2	1%	2	1%	18
	その他	1%	4	1%	4	2%	5	1%	26
	合計	100%	327	100%	279	100%	306	100%	1860

(3) 一番利用されている公園は、どのくらいの頻度で利用されていますか。

公園の利用頻度は、県内外ともに「年に数回」と回答した人が最も多い傾向にありました。

利用頻度	県 内		県 外		全 体	
	小 計		小 計		合 計	
	%	人	%	人	%	人
ほぼ毎日	 3%	15	 2%	3	 2%	18
週に2・3回	 8%	48	 6%	11	 8%	59
週に1回	 10%	59	 9%	15	 10%	74
月に数回	 18%	109	 23%	39	 19%	148
月に1回	 17%	101	 13%	22	 16%	123
年に数回	 35%	206	 34%	58	 34%	264
年に1回	 10%	58	 14%	24	 11%	82
合計	100%	596	100%	172	100%	768

(4) 一番利用されている公園には、どのくらい滞在されていますか。

公園の滞在時間は、県内外ともに「1時間～3時間」が最も多く、次いで「30分～1時間」でした。

滞在時間	県 内		県 外		全 体	
	小 計		小 計		合 計	
	%	人	%	人	%	人
30分以内	 13%	76	 6%	10	 11%	172
30分～1時間	 37%	218	 32%	55	 36%	546
1～3時間	 38%	227	 44%	74	 39%	602
3～5時間	 9%	52	 10%	17	 9%	138
5～8時間	 2%	10	 5%	8	 2%	36
1日	 2%	11	 3%	5	 2%	32
その他	 0%	1	 1%	1	 0%	4
合計	100%	595	100%	170	100%	1530

(5) 利用されている公園の魅力は何ですか。あてはまる項目を全てお選びください（複数回答可）。

公園の魅力は、「風景がきれい」「散歩や散策ができる」と回答した人が多い傾向にありました。

魅 力	県 内		県 外		全 体	
	小 計		小 計		合 計	
	%	人	%	人	%	人
散歩や散策ができる	26%	351	19%	82	24%	433
風景がきれい	24%	333	22%	97	24%	430
動植物が多く生息するなど自然が豊か	10%	135	10%	45	10%	180
遊具が充実	8%	103	7%	32	8%	135
休憩施設が充実	7%	91	10%	44	8%	135
運動・スポーツ施設が充実	7%	93	8%	35	7%	128
文化体験・学習施設が充実	3%	46	3%	15	3%	61
歴史に触れることができる	2%	33	6%	24	3%	57
釣りができる	2%	30	5%	20	3%	50
デイキャンプ（バーベキュー）ができる	2%	30	2%	10	2%	40
イベントが多い	2%	28	1%	4	2%	32
キャンプ（宿泊）ができる	1%	16	2%	8	1%	24
サイクリングやツーリングコースにある	1%	15	2%	8	1%	23
水上スポーツや水泳ができる	1%	13	1%	4	1%	17
その他	3%	45	2%	7	3%	52
合計	100%	1362	100%	435	100%	1797

年齢別に見ると、10代、30代で「遊具が充実」の回答が他の年齢に比べ多い傾向にありました。

		15-19歳		20代		30代		40代	
		%	人	%	人	%	人	%	人
魅 力	風景がきれい	24%	11	19%	24	16%	55	23%	90
	散歩や散策ができる	15%	7	19%	25	19%	66	21%	82
	動植物が多く生息するなど自然が豊か	2%	1	9%	12	8%	28	9%	35
	遊具が充実	20%	9	6%	8	15%	52	11%	42
	休憩施設が充実	7%	3	11%	14	8%	29	7%	27
	運動・スポーツ施設が充実	13%	6	9%	11	8%	29	10%	37
	文化体験・学習施設が充実	0%	0	5%	7	4%	14	3%	11
	歴史に触れることができる	4%	2	2%	3	3%	12	3%	10
	釣りができる	4%	2	5%	6	4%	15	2%	9
	デイキャンプ（バーベキュー）ができる	4%	2	4%	5	2%	8	3%	11
	イベントが多い	2%	1	2%	2	2%	6	2%	8
	キャンプ（宿泊）ができる	0%	0	2%	3	3%	10	1%	4
	サイクリングやツーリングコースにある	0%	0	1%	1	2%	7	1%	4
	水上スポーツや水泳ができる	4%	2	3%	4	1%	4	1%	4
	その他	0%	0	3%	4	3%	10	4%	15
	合計	100%	46	100%	129	100%	345	100%	389

		50代		60代		70代以上		合計	
		%	人	%	人	%	人	%	人
魅 力	風景がきれい	28%	87	29%	80	27%	84	24%	430
	散歩や散策ができる	24%	74	31%	87	30%	93	24%	433
	動植物が多く生息するなど自然が豊か	11%	34	13%	35	12%	36	10%	180
	遊具が充実	3%	10	3%	8	2%	6	8%	135
	休憩施設が充実	8%	24	6%	17	7%	21	8%	135
	運動・スポーツ施設が充実	5%	17	4%	10	6%	19	7%	128
	文化体験・学習施設が充実	2%	5	4%	10	5%	14	3%	61
	歴史に触れることができる	3%	9	3%	9	4%	13	3%	57
	釣りができる	3%	8	1%	4	2%	7	3%	50
	デイキャンプ（バーベキュー）ができる	3%	8	1%	3	1%	4	2%	40
	イベントが多い	4%	11	0%	1	1%	3	2%	32
	キャンプ（宿泊）ができる	1%	3	1%	3	0%	1	1%	24
	サイクリングやツーリングコースにある	2%	6	1%	4	1%	2	1%	23
	水上スポーツや水泳ができる	0%	1	1%	2	0%	0	1%	17
	その他	4%	13	2%	5	1%	4	3%	52
	合計	100%	310	100%	278	100%	307	100%	1797

(6) 利用されている公園で、気になる点がありますか（複数回答可）。

公園の気になる点として、特にないと回答した人も多くいましたが、それを除くと「売店や飲食店がない」、「トイレが使いづらい」と回答した人が多い傾向にありました。

また、県外利用者は「駐車場の駐車可能台数が少ない」と回答した人が最も多いという結果でした。

気になる点	県 内		県 外		全 体	
	小 計		小 計		合 計	
	%	人	%	人	%	人
不満は特にない	13%	161	16%	52	14%	213
売店や飲食店がない	13%	158	10%	32	12%	190
トイレが使いづらい	12%	149	9%	29	11%	178
駐車場の駐車可能台数が少ない	8%	105	11%	37	9%	142
日陰が少ない	9%	111	9%	28	9%	139
施設が老朽化している	7%	89	4%	14	7%	103
休憩施設が少ない	7%	82	4%	14	6%	96
駐車場の区画が狭い	4%	55	7%	22	5%	77
ゴミ等の不法投棄など、マナーが悪い利用者が多い	5%	64	4%	13	5%	77
遊具が少ない	4%	55	5%	15	4%	70
乳幼児向けの施設が足りていない	3%	37	4%	12	3%	49
公園の混雑状況が分からない	3%	33	4%	12	3%	45
園路や広場等の清掃、草刈りなどの維持管理が足りていない	3%	36	2%	7	3%	43
公園の入り口が分かりにくい	2%	26	4%	13	2%	39
看板が読みにくい、または不備	2%	26	3%	10	2%	36
バリアフリー対応ができていない	2%	23	3%	9	2%	32
公園内の移動が疲れる	1%	7	0%	1	1%	8
その他	3%	32	2%	8	3%	40
合計	100%	1249	100%	328	100%	1577

(7) 公園を利用していないのはなぜですか（利用する公園がないと回答した人のみ自由記述回答）。

自由記述回答をキーワードごとに集計すると、公園を利用しない理由は「利用する目的がないから」が最も多く、次いで「遠いから」という結果となりました。

利用しない理由	県 内		県 外		全 体	
	小 計		小 計		合 計	
	%	人	%	人	%	人
利用する目的がないから	58%	166	43%	183	49%	349
遠いから	12%	35	35%	150	26%	185
外に出ないから（インドア）	9%	25	10%	43	10%	68
子どもが大きくなったから	7%	20	4%	16	5%	36
忙しいから	3%	9	3%	13	3%	22
子どもがいないから	4%	11	1%	6	2%	17
わからない	2%	7	2%	7	2%	14
1人だから（一緒に行く人がいない）	1%	4	1%	5	1%	9
暑い・寒いから	1%	2	0%	1	0%	3
楽しくないから	1%	2	0%	1	0%	3
利用したいと思わないから	0%	1	0%	1	0%	2
バーベキューできないから	0%	1	0%	0	0%	1
マナーが悪いから	0%	1	0%	0	0%	1
日焼けをしたくないから	0%	1	0%	0	0%	1

自由記述の抜粋のとおり、“子どもの成長やライフスタイルの変化に伴い、公園との関わりが希薄化”したことや、“距離的な制約によって来訪機会の限定されている”ことが伺えました。

<自由記述の抜粋>

- ・子どもが大きくなり、公園へ行く機会がなくなった。
- ・自宅から公園が遠いため行きにくい
- ・公園は子供たちの遊び場だと思うので、年寄りには出来るだけ散歩などで一般の道をひたすら歩くことにしている。
- ・成人女性が利用するタイミングがない。

(8) 公園で、新たにやってみたい事、やってほしい事がありますか（複数回答可）。

公園で新たにやってみたい事、やってほしい事は、「カフェで休憩」、「レストランでランチ」と回答した人が多い傾向にありました。

新たにやってみたいこと やってほしいこと	県 内		県 外		全 体	
	小 計		小 計		合 計	
	%	人	%	人	%	人
特になし	19%	433	25%	536	22%	969
カフェで休憩	18%	406	17%	357	17%	763
レストランでランチ	11%	254	11%	241	11%	495
ウォーキング、ヨガなどの健康づくり	8%	195	8%	181	8%	376
マルシェ	8%	181	6%	138	7%	319
キャンプ、グランピングなど	6%	131	6%	128	6%	259
ビアガーデンやパーティー	6%	132	5%	105	5%	237
自然観察会など野外体験	5%	127	5%	105	5%	232
大型遊具などのアスレチック	5%	124	5%	102	5%	226
クラフト体験制作イベント	3%	75	3%	58	3%	133
ドッグラン	3%	67	2%	53	3%	120
サップ、カヤックなどの湖上体験イベント	3%	65	2%	47	3%	112
写真や絵画などの野外教室	2%	41	2%	50	2%	91
スケートボードなどのアーバンスポーツやボルダリング	2%	55	1%	29	2%	84
その他	1%	34	1%	18	1%	52
合計		2073		2148		4468

年齢別に見ると、10代20代は「キャンプやグランピング」、30代は「大型遊具などのアスレチック」、40代は「マルシェ」、50代以上になると「ウォーキング・ヨガなどの健康づくり」も多く見られるなどの特徴がありました。

		15～19歳		20代		30代		40代	
		%	人	%	人	%	人	%	人
新たにや つて み たい 事	特になし	15%	27	21%	88	19%	167	20%	179
	カフェで休憩	15%	27	17%	68	17%	150	16%	145
	レストランでランチ	14%	26	12%	51	10%	90	10%	89
	ウォーキング、ヨガなどの健康づくり	6%	10	6%	23	7%	58	7%	64
	マルシェ	7%	13	6%	24	8%	67	8%	67
	キャンプ、グランピングなど	11%	19	9%	37	6%	53	7%	60
	ビアガーデンやパーティー	7%	13	7%	27	4%	37	5%	46
	自然観察会など野外体験	3%	5	5%	19	5%	48	5%	44
	大型遊具などのアスレチック	10%	18	4%	17	8%	74	6%	56
	クラフト体験制作イベント	4%	7	3%	12	4%	31	3%	26
	ドッグラン	3%	6	4%	15	2%	15	3%	28
	サップ、カヤックなどの湖上体験イベント	2%	3	3%	14	4%	32	3%	25
	写真や絵画などの野外教室	2%	4	3%	11	3%	25	2%	17
	スケートボードなどのアーバンスポーツやボルダリングなど	1%	2	1%	6	3%	29	3%	27
	その他	0%	0	0%	0	1%	5	1%	8
	合計	100%	180	100%	412	100%	881	100%	881

		50代		60代		70代以上		合計	
		%	人	%	人	%	人	%	人
新たにや つて み たい 事	特になし	20%	179	25%	180	26%	127	22%	969
	カフェで休憩	17%	152	17%	124	20%	100	17%	763
	レストランでランチ	12%	105	11%	79	11%	56	11%	495
	ウォーキング、ヨガなどの健康づくり	10%	89	12%	82	10%	50	8%	376
	マルシェ	9%	78	6%	46	5%	24	7%	319
	キャンプ、グランピングなど	5%	43	5%	37	3%	13	6%	259
	ビアガーデンやパーティー	7%	58	5%	36	4%	22	5%	237
	自然観察会など野外体験	5%	40	5%	39	8%	37	5%	232
	大型遊具などのアスレチック	3%	30	2%	14	4%	18	5%	226
	クラフト体験制作イベント	3%	30	2%	17	2%	10	3%	133
	ドッグラン	3%	26	3%	21	2%	8	3%	120
	サップ、カヤックなどの湖上体験イベント	2%	19	2%	15	1%	5	3%	112
	写真や絵画などの野外教室	2%	14	1%	9	2%	11	2%	91
	スケートボードなどのアーバンスポーツやボルダリングなど	1%	13	1%	5	0%	2	2%	84
	その他	1%	8	1%	8	1%	7	1%	52
	合計	100%	884	100%	712	100%	490	100%	4468

(9) あなたにとって、公園での心に残る思い出や、風景などがありましたらお教えてください（自由記述）。

自由記述回答をキーワードごとに集計すると、公園での思い出は「子どもとの思い出」や「子どもの頃の思い出」の場所として公園が記憶されていることがわかります。

思い出	県内		県外		全体	
	小計		小計		合計	
	%	人	%	人	%	人
遊び	23%	184	9%	51	17%	235
子どもとの思い出	16%	128	14%	79	15%	207
風景鑑賞	12%	99	7%	37	10%	136
子どもの頃の思い出	8%	65	12%	68	10%	133
自然観察	7%	56	7%	36	7%	92
ピクニック	4%	32	6%	34	5%	66
琵琶湖	7%	54	1%	7	5%	61
家族との思い出	3%	24	4%	24	4%	48
散策	3%	23	5%	25	4%	48
桜	2%	17	4%	20	3%	37
友達との思い出	2%	17	3%	17	3%	34
花見	2%	13	3%	19	2%	32
のんびり	2%	18	2%	13	2%	31
県外の公園	0%	1	5%	28	2%	29
ペットとの思い出	1%	10	3%	16	2%	26
孫との思い出	2%	14	1%	8	2%	22
アスレチック	1%	11	1%	6	1%	17
イベント	1%	6	1%	7	1%	13
スポーツ	0%	3	2%	10	1%	13
親との思い出	1%	5	1%	7	1%	12
自然	0%	3	2%	9	1%	12
希望が丘公園	1%	10	0%	1	1%	11
紅葉	0%	0	2%	11	1%	11
青春の思い出	1%	7	1%	3	1%	10
デート	0%	0	2%	10	1%	10
合計	100%	800	100%	546	100%	1346

自由記述の抜粋のとおり、公園での心に残る思い出や風景は、“ライフステージごとに積み重なり、人生を豊かにしている”傾向が見えました。

<自由記述の抜粋>

- ・子どものころは、家族と湖岸の公園でピクニックをした。学生時代は公園に走りに行き、トレーニングをした記憶がある。湖岸から見る景色はどこから見ても癒やされる。
- ・仕事で忙しく過ごしている日々の中で、子どもを連れて公園に行き、遊具で遊んでいる姿を見ながらベンチで読書をしている時間がとても心が安らぎ、幸せを感じられる。

(10) あなたは、「THE シガパーク」の取組をご存じですか。

THE シガパークを「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は、全体で約 15%でありました。

	県 内		県 外		全 体	
	小 計		小 計		合 計	
	%	人	%	人	%	人
知っている	8%	91	3%	41	5%	132
聞いたことはある（中身は知らない）	14%	164	7%	87	10%	251
知らない（聞いたことがない）	79%	948	90%	1101	84%	2049
合計	100%	1203	100%	1229	100%	2432

(11) 公園の魅力向上・THE シガパークの取組について、期待することをお聞かせください（自由記述）。

自由記述回答をカテゴリーごとに集計すると、「自然環境の保全・活用・共生」が最も多い傾向にありました。

期待すること	県 内		県 外		全 体	
	小 計		小 計		合 計	
	%	人	%	人	%	人
自然環境の保全・活用・共生	19%	103	29%	107	23%	210
多様な利用者・利用ニーズへの対応	10%	55	11%	41	10%	96
ライフステージへの対応	8%	43	11%	40	9%	83
情報発信・広報活動の強化・充実	6%	35	5%	19	6%	54
公園の魅力向上とネットワーク化	7%	37	4%	13	5%	50
安心・安全の確保	4%	23	4%	15	4%	38
利用マナーの向上	5%	28	2%	9	4%	37
イベントの充実	4%	23	4%	13	4%	36
休憩機能・施設の充実	4%	23	2%	9	3%	32
遊戯施設の充実・多様化	4%	22	2%	6	3%	28
その他	4%	20	2%	8	3%	28
駐車場の利用料金	3%	17	3%	10	3%	27
交通アクセスの充実・利便性の向上	3%	19	2%	7	3%	26
物販・飲食施設の充実	3%	18	2%	8	3%	26
維持管理の充実	4%	20	1%	4	3%	24
駐車場の充実	3%	15	2%	7	2%	22
景観への配慮と活用	1%	8	4%	13	2%	21
トイレの充実・美化	3%	17	1%	2	2%	19
動物愛護	1%	3	3%	11	2%	14
事業の継続	2%	9	1%	4	1%	13
合計	100%	556	100%	363	100%	919

自由記述の抜粋のとおり、公園の魅力向上・THE シガパークの取組について期待することは、県内利用者は「日常の延長としての利便性や快適性」、県外利用者は「非日常としての体験」を求める傾向にありました。

<自由記述の抜粋>

県内利用者

- ・トイレが古いところもあるので、子どもでも安心して使用できるよう、改良してほしい。
- ・屋内で遊べる施設が少ないため、真夏の暑い時期や、雨の日など、公園にそのような施設があると大変助かるし、魅力に感じる。

- ・カフェなどが少ないため、ドライブがてら立ち寄れるカフェのような施設があると嬉しい。

県外利用者

- ・駐車場や利用料の無料化、フォトジェニックな場所の増加。
- ・県外の人も滋賀県に遊びに行くスポットのひとつになるといい。
- ・滋賀県には琵琶湖という唯一無二の魅力があり自然も豊かであるため、少子高齢化が進む中、公園は多世代がそれぞれ楽しめる憩いの場であってほしい。

● THE シガパークビジョン検討委員会

1. THE シガパークビジョン検討委員会

水と緑と人でつながる「THE シガパーク」の持つ価値・魅力をさらに高め、人々の暮らしを豊かにするため、長期的な構想や取組の行動計画となる「THE シガパークビジョン」に関して検討するにあたり、各分野の専門家や関係者等の幅広い意見を反映させていくことを目的として、「THE シガパークビジョン検討委員会」を設置し、全6回の検討を行いました。

2. THE シガパークビジョン検討委員会名簿

分 野	所 属 ・ 氏 名
地域・まちづくり	滋賀県立大学地域共生センター 上田 洋平 特別講師
造園	京都府立大学 生命環境科学研究科 福井 亘 教授
自然	公益財団法人 淡海環境保全財団 高木 浩文 理事長
野外活動	滋賀県シェアリングネイチャー協会 辻 祥子 氏
子ども	合同会社 LOCO 宮本 麻里 代表
健康 (ウェルビーイング)	武蔵野美術大学 造形構想学部 岩寄 博論 教授
メディア	一般社団法人 ママパスポートコミュニティ 廣瀬 香織 代表理事
【事務局】 ・滋賀県 交通まちづくり部 THE シガパーク推進課 ・株式会社 協和コンサルタンツ	

委員の所属は令和8年時点